

香取

A Profile of the City of Katori 2018

伊能忠敬

天を測り
地を量る

没後200年記念特別企画

香取市市勢要覧 2018

発行／千葉県香取市

〒287-8501 千葉県香取市佐原口 2127

TEL 0478-54-1111 FAX 0478-52-4566

<http://www.city.katori.lg.jp/>

発行日／2018年3月

編集／秘書広報課

制作／株式会社エリート情報社

二百年目の賛辞、あるいは未来への誓い

推歩先生（あまりに熱心に天文観測に勤しんだことからそう呼ばれていたそうですね）、あなたが幾度となく見つめ、中象限儀で測った天空にあなたご自身が旅立ってから、ちょうど二百年の歳月が流れました。

地球の大きさと形を知りたい、子午線一度の長さを知りたい――、その思いが募り、ついにあなたは隠居後の寛政十二年（一八〇〇）閏四月（新暦六月）、全国測量の一步を踏み出しました。五十五歳のときでしたね。

以後、足かけ十七年にわたって全国津々浦々をあなたは歩き尽くしました。あなたが歩いた距離は、実に四千万歩に及びました。

（驚異の数字をさらに示せば、測量に協力した人の子孫が全国に約一万二千人いることが判明しました）

あなたのこの途方もない足跡がやがて功績となって開花・結実しました。それが、比類のない正確さと芸術性を備えた「伊能図」即ち「大日本沿海輿地全図」です。

* * * * *

忠敬さん（親しみを込めてこう呼びかけることをお許しください）、

全国測量を開始する前のあなたは、佐原村の名主やその上に立つ村方後見を務め、

深い郷土愛と使命感をもって郷土のために尽くしました。

飢饉や凶作で村が困窮した際（天明年間には大飢饉もありました）、

あなたは私財を投げ打って人々を救いました。

利根川の洪水で被害を受けることの少なくなかった土地柄です。

あなたは堤防修築など普請事業にも心血を注ぎました。

そのほかにもあなたの功績は枚挙に暇がありません。今も語り継がれています。

あなたが愛し育ててくれた郷土はその後、町域の変遷や拡大を経て成長してきました。

平成十八年（二〇〇六）には佐原市、小見川町、山田町、栗源町の一市三町が合併し香取市が誕生しました。

この間には千年に一度ともいわれる大災害が東日本を襲いました。

あなたが困難を極めながら測量した三陸をはじめとする太平洋側の美しい海岸を津波が襲い、瓦礫が山を成しました。

ここ香取市でも道路や建物が損壊し、川の護岸が崩れるという甚大な被害に見舞われました。

あなたの時代から続く歴史的な町並み・重要伝統的建造物群。その屋根は暫くの間ブルーシートに覆われました。

でも忠敬さん、おかげさまでこのまちには、郷土愛と助け合いの精神が脈々と受け継がれていました。

「つながろう かとり」の想いのもと、市民が一体となって復興への取り組みを進め

震災前よりさらに魅力に包まれたまちへと変貌することができました。

そうそう、忠敬さん、このところ香取市は嬉しいニュースに彩られています。

あなたが生まれる前から始まり、今も盛大に繰り広げられている佐原の大祭・山車行事が

二〇一六年十二月にユネスコの無形文化遺産に登録されました。

先立つ同年四月に香取市は、佐倉市・成田市・銚子市とともに

「北総四都市江戸紀行」として日本遺産に認定されました。

それに、水郷佐原あやめパークがつい先ごろリニューアルオープンいたしました。

* * * * *

ときは二〇一八年春、小野川のしだれ柳が芽吹き、新緑が輝き始めました。

あなたの旧宅前にある樋橋からは、三十分おきにジャージャーと音を立てて水が流れています。

橋を渡れば伊能忠敬記念館。国宝「伊能忠敬関係資料二三四五点」を所蔵しています。

全国から多くの人が訪れ、あなたの偉業に感服の声を上げています。

北へ一本隣る橋が「忠敬橋」です。橋の下をサップ舟が行き交い、橋の上を人々が往来しています。

視界を広げれば、香取神宮・観福寺・小見川城山公園・黒部川・府馬の大クス・

道の駅くりもと紅小町の郷と道の駅水の郷さわらなどなど、このまちは豊かな文化・観光資源に恵まれています。

まちのあちこちに豊饒の大地が広がり、人々の笑顔が花咲いています。

この四月からは、香取市第二次総合計画のもと新しいまちづくりが始まります。

未来にもっと輝く香取市、日本に誇れる、世界に誇れる香取市を私たちはつくっていきます。

その誓いとしてここに、あなたの事績を振り返るとともに、日々成長しているまちの姿を一冊にまとめました。だから忠敬さん、これからも天空からこのまちを見守ってください。

伊能忠敬没後二百年（平成三十年）三月

香取市民一同

目次

特集 1 ◎伊能忠敬 天を測り地を量る	4
特集 2 ◎世界遺産・日本遺産のまち香取	22
香取市 12 年の歩み	28
第 2 次総合計画 概要版	34
香取辞典	45
統計資料で見る香取市	53
香取素描	60
発行にあたって	66
伊能中図（部分）	〔別冊〕

Foreword

In commemoration of the 200th anniversary of the death of Ino Tadataka A tribute of praise in the 200th year, and vow for the future.

Dear Mr. Ino Tadataka: The hometown that you loved is called Katori City today, and is marking the twelfth anniversary of its creation. In 2011, Katori was hit by the Great East Japan Earthquake, but we have rebuilt with the strength of our love for Katori and the spirit of mutual assistance. Recently, Katori City has been excited about a number of pleasing news. its Sawara Float Festival has been registered on the Representative List of the Intangible Cultural Heritage of Humanity, Katori City has been designated as a Japan Heritage Site, and the Suigo Sawara Ayame Park has reopened. Now it is the spring of 2018. We promise to make Katori shine even more brilliantly in the future, so that it will become a community which we can boast to the people both within the country and throughout the world. March 2018, the 200th anniversary of the death of Ino Tadataka

伊能忠敬

天を測り

地を量る



その視線の先に見据えていたことは
何であつたのだろうか。
江戸時代、ここ佐原で人間を練り上げ、
50歳で学問のため江戸へ。

日本全国を測量して歩き、
初めて実測で日本地図をつくりあげました。
地上で距離と角度を量り、天体で角度を測る。
膨大な作業を丹念に繰り返す。
誰もやったことのないことをやり遂げる情熱が、
時代を超越した偉業となりました。
没後200年の今、
忠敬を知り、忠敬に学びます。



伊能忠敬記念館近くで御用の旗がたなびく



小野川に架かる橋樑。初代は江戸時代に架けられた



忠敬橋には象限儀のモチーフがある

Astronomical observations and accurate surveying of the earth.

After making great efforts as an individual and attaining great success as a businessman in Sawara, Tadataka went up to Edo to study Western sciences. Past 55 of age, he began to walk together with his followers in order to survey all through Japan including a lot of islands and finally completed the very first and accurate map of Japan. His great achievement was far ahead of the times, and the Ino Map was the authorized map of Japan for a long time. As 2018 marks the 200th anniversary of his death, why not gain a deeper understanding of the man and his work?

忠敬の生涯を ひもとく

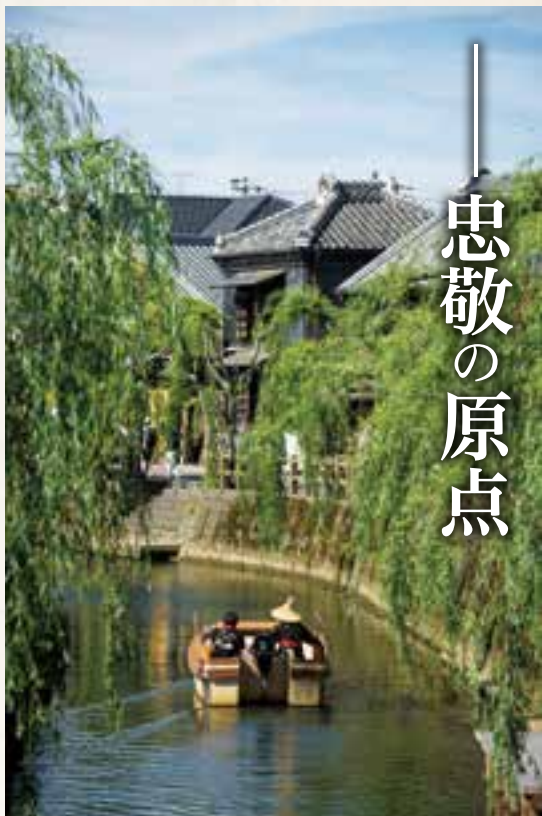
天とは天体であり、暦であり、時である。
佐原の商人として活躍しつつ進むべき道を見出していった前半生。
江戸での勉学と、困難を乗り越えながらも全国測量を行って伊能図をつくった後半生。
この足跡をたどります。



Sky A glimpse into Tadataka's life

The first half of his life was completed as a successful merchant in Sawara having a dream of strong ambition in the future and the second half as a practical cartographic surveyor who led his team in order to compile the Ino Maps. Let us retrace his footsteps.

忠敬の原点



学問の道から経営者へ

忠敬は上総国山辺郡小関村（現在の九十九里町）に生まれました。幼い頃の忠敬は謎が多いものの、僧侶や医師のもとで修行しながら数学や医学の素養を身に着けたと伝えられています。

こうした学問の能力が認められたのか、忠敬は17歳の時、佐原村の伊能家に婿養子に迎えられました。伊能家は代々、村の名主（現在の村長のような役目）を務める名家で、多くの奉公人を抱えて酒造りや米の売買、金融業などを営む規模の大きな商家でした。忠敬はその商才を発揮して、伊能家をさらに大きく成長させることに成功します。一説には、その資産は約3万両（現在の45億円程度）に

のぼったと言われます。忠敬が経営者として培った、人を見る目や人を束ねる手腕、そして巨額の資産は、その後の全国測量に直接活かされることになります。

商才を活かして 地域に貢献

忠敬の優れた商才は、村や地域のためにも活かされました。それがもつとも発揮されたのは、天明の大飢饉の時です。

この時忠敬は、被害が大きくなる前に関西方面から安価な米を大量に買い付け、江戸で高値で売り払って大きな利益を得ます。その一方で、地元では同じ米を安い値段で売り、また、困窮している人には無償で分け与えています。さらに、江戸幕府が実施した利根川の堤防修築工事を自ら請け負って、困窮する人々に就業機会を提供するとともに、工事費用を浮かせて得た残金で村の財政基金を造成するなどしています。

忠敬は、自らの商才を自家の利益のためだけでなく、公共的な事業のためにも活かすことのできる人でした。

変わらぬ地元への想い

「名譽に関わらず困窮している人の命は救うべし」という信念は、

忠敬の生涯を通じたものでした。1813年の夏、九州での測量旅行を続ける忠敬のもとに、利根川一帯が大洪水で甚大な被害を受けたとの一報が届きます。これに心を痛めた忠敬は、「困窮している人がいれば、佐原村はもちろん近隣の村々の人たちまでも、自分の所持金を費やして救いたい」と述べています。

故郷を離れ全国測量の旅路にあっても、地元のために力を尽くそうという想いを忠敬は変わらずに持ち続けていました。

1. 悠々と流れる利根川
2. 伊能家の菩提寺 観福寺
3. 伊能忠敬旧宅



50歳からの挑戦



地球を知りたい

隠居して家業を息子に譲った忠敬は、50歳で江戸に移住し、天文学者で江戸幕府の役人でもあった高橋至時^{よしとき}に弟子入りをして、当時最先端の天文学を学び始めます。そこで忠敬は、当時の天文学では日食や月食がいつ起こるのか正確に予測できないという問題につき当たります。この問題を解決するには、緯

度1度の長さを測定し、地球の大きさを確定することが必要でした。同じ頃、蝦夷地^{えぞち}（現在の北海道）近海にロシア船がたびたび来航するようになり、幕府は国防のために正確な地図を作ることが不可欠と考えていました。そこで至時は、蝦夷地までの測量と地図作りを幕府に願います。地図作りをしながら地球の大きさを測ってしまおうと考えたからです。その担当者として至時が推薦したのが弟子の忠敬であり、これこそが全国測量の始まりでした。

苦難の道のり

忠敬の全国測量は全10回、55歳から71歳までの足掛け17年間、歩いた距離は地球一周分、約4万kmにのぼります。そして、完了に至るまでにはさまざまな苦難がありました。険しい岩場や切り立った崖が続く北海道の襟裳岬^{えりも}の測量では、沿岸の測量を諦めて山道を進みますが、途中で日が暮れて遭難しかけました。忠敬はこの時のことを「終日難所を歩き、草鞋もことごとく切れ破れ、素足になつてしまい困っていたところに、迎えの提灯^{ちようちん}が見えたので、まさに地獄に仏とはこのことだった」と振り返っています。

忠敬を支えたもの

国民的な偉業へ

忠敬は約4年間かけて東日本の測量を行い、緯度1度の正確な長さを算定することに成功します。また、出来上がった地図も11代將軍徳川家斉^{いえなり}をはじめ幕府首脳から高く評価されます。その結果、忠敬は功績を認められ、幕府の役人に取り立てられました。

その後の西日本の測量は正式な幕府直轄事業となり、規模、質ともに大きく変貌しました。例えば、瀬戸内海に浮かぶ500を超えの島々の一つ一つを短期間のうちに測量しています。それが可能となったのは、現地の大名や武士、たくさん一般住民の参加があったからです。忠敬の全国測量は、忠敬個人や測量隊員の努力だけでなく、全国各地の多くの人々の協力があつて初めて成し遂げられたものでした。

墓は先生の隣に

忠敬の全国測量で最大の支援者となつたのは、先生である高橋至時です。忠敬より19歳も年下である至時ですが、良き理解者として

陰日向なく忠敬を支えました。測量の途中、測量隊と現地の役人の間でトラブルが生じ、役人たちが幕府に訴えるという事件が起つた際も、至時は終始、忠敬を弁護するとともに、忠敬にも手紙を送つて、「天下における天文学の盛衰は、まさにあなたの一身にかつている」と、この測量の意義と重大性を説き、行動を慎むよう諭しました。至時は忠敬より先に亡くなりますが、至時を想う忠敬は、「自らの墓は至時の隣に築いてほしい」と述べたといひます。

夢をあきらめない

忠敬には測量・地図作りに対する強い使命感があり、その原点は幼少期にありました。忠敬は、晩年に自らの生涯を振り返って、次のように述べています。「私は、幼いころから高名出世を望んでいたが、親の命令で伊能家へ養子に入ることになり、好きだった学問をやめて家業第一に生きてきた。しかし、隠居した後になって、未だかつて誰も成し遂げたことのない測量御用を任せられ、諸大名の協力を得て全国を測量して廻ったことは本当にありがたいことである。」忠敬の使命感の背後には、学問で身を立てたいという幼い頃からの夢があつたのかもしれない。

奈良漬も食べられない

約17年間も全国を歩いた忠敬は、とても健康で頑丈な身体を持ち主だったと思われがちです。しかし実際は、いくつもの持病を抱え、測量の旅先で寝込んでしまうこともありました。忠敬が最も苦しんだのは、歯痛、咳や痰、痔などです。69歳の時、測量先から実の娘に送った手紙には、「歯が一本だけになってしまい、それも時々痛むので、奈良漬^{ならひじき}も食べられない。旅先で麴^{こう}を買って、ゴマや唐辛子、醬^{ひしお}などを入れて食べている」と記しています。



1. 測量に出発する前には必ず参拝した富岡八幡宮
2. 現在の函館市
3. 幕府から交付された蝦夷地測量試みの御沙汰書
4. 深川黒江町～浅草司天台実測図
5. 源空寺 高橋至時の墓
6. 測量日記・忠敬先生日記
7. 伊能隊の測量風景（浦島測量之図・呉市入船山記念館保管）



シーボルト事件

ドイツ人シーボルトが伊能図の写しを、母国へ持ち帰ろうとしたことが発覚して事件となりました。

江戸後期、日本地図は国外に持ち出すことを禁じられていました。親交があり、伊能図を渡した天文方^{てんぶんかた}の高橋景保(至時の子)は処罰され、シーボルトは国外追放となりました。しかし、密かに作った伊能図の写しを持ち出して帰国。初めて海外に日本の正確な姿を伝えました。

1832年には「Nippon」を刊行。ヨーロッパで日本文化を紹介するなど日本に大きく貢献しました。

伊能図の世界にふれる

地とは地球であり、大地であり、地図である。
伊能図の驚くべき正確さとスケールの大きさ、
芸術的な美しさ。
その後の世界と日本へ与えた影響。
この魅力を堪能します。



Earth Exploration of the world of the Ino-zu (Ino Maps)

Let us appreciate the striking accuracy and aesthetic beauty of the Ino Maps, drawn on an extremely large scale, and their influence on the later history of Japan and the world.

ココがすごい！

香取の偉人 伊能忠敬

語りつくせない忠敬の偉業。その中でも「すごい！」と言えるポイントを紹介。



**50歳を過ぎてから
日本全国を測量！**

佐原で家業のほか村の名主や村方後見として活躍したのち隠居。50歳で江戸に出て学問を修め、なんと55歳から全国測量を始めました。



東京国立博物館所蔵
Image:TNM Image Archives

**初めて実測で
日本地図を作った！**

日本全国を測量してまわり、初めて実測による日本地図を完成させました。現在の地図と比べると、精度の高さに驚かされます。

**数千万円の測量費用を
自分で支払う！**

最初の測量費用は現在のお金で数千万円。当初幕府が支給してくれたお金は大変少なく、かかった費用の多くを忠敬が用意しました。

地球1周分を歩く！

日本全国の測量は全10回、17年間に及びました。歩いた距離は地球一周とほぼ同じ約4万kmとなりました。



地球の大きさを測る！

地球の大きさを知るためには子午線(緯度)1度の距離を測ることが必要でした。全国測量で子午線1度の距離を28.2里と測定。地球の大きさを求めました。



伊能図の完成

足掛け17年に及ぶ全国測量が完了した後、日本全図の製作に取り掛かった忠敬ですが、1818年、地図の完成をみることなく73歳で亡くなります。しかし、忠敬の死は正式には公表されないまま、残された地図は3年後に忠敬の弟子たちの手によって完成され、「伊能忠敬」の名前で幕府に提出されます。そこで提出された日本地図が「大日本沿海輿地全図」と名付けられました。

忠敬が作った地図、通称「伊能図」は、縮尺の異なる大図・中図・小図の3種類のほか、名勝地を絵画のように描いた特別図など、さまざまなバリエーションがあります。いずれの地図も、実際に測量して作られたので、高い正確性を持つとともに、地形描写には日本画の手法が用いられて、芸術的な美しさも兼ね備えています。

伊能図は江戸時代には一般に公開されることはほとんどありませんでした。しかし、幕末から明治にかけて、伊能図を基にした近代的な地図がさまざまなところで作られ、大正時代まで使用されたものもありました。

幕末から明治にかけて、伊能図を基にした近代的な地図がさまざまなところで作られ、大正時代まで使用されたものもありました。

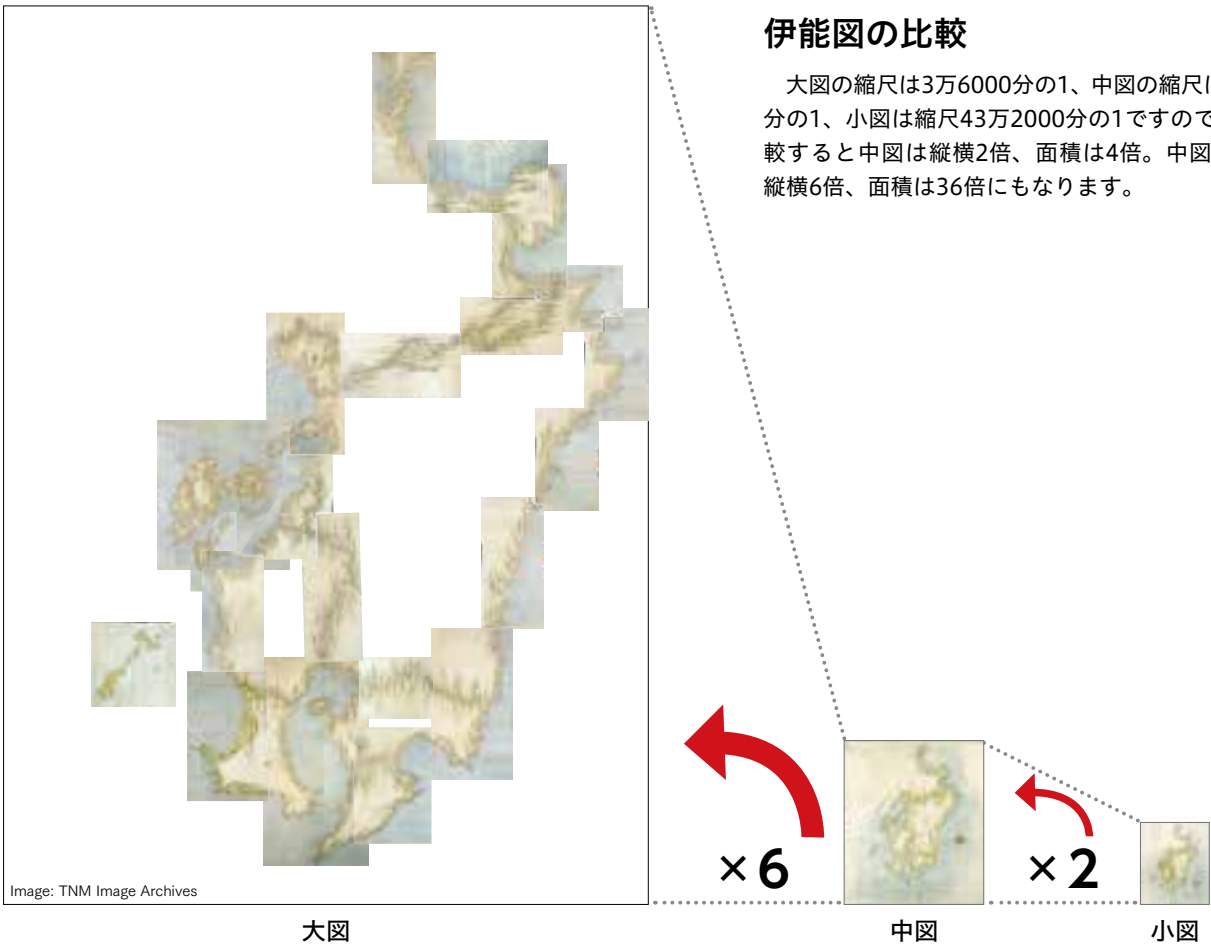
伊能測量隊の行程

	測量地	伊能忠敬の年齢	日程
第1次測量	蝦夷地	55	寛政12年(1800)閏4月19日～10月21日
第2次測量	本州東岸	56	享和元年(1801)4月2日～12月7日
第3次測量	本州西岸	57	享和2年(1802)6月11日～10月23日
第4次測量	東海・北陸	58	享和3年(1803)2月25日～10月7日
第5次測量	畿内・中国	60～61	文化2年(1805)2月25日～文化3年11月15日
第6次測量	四国・大和	63～64	文化5年(1808)1月25日～文化6年1月18日
第7次測量	九州	64～66	文化6年(1809)8月27日～文化8年5月9日
第8次測量	九州	66～69	文化8年(1811)11月25日～文化11年5月23日
第9次測量	伊豆七島	70(測量不参加)	文化12年(1815)4月27日～文化13年4月12日
第10次測量	江戸	70～71	文化12年2月3日～19日、文化13年(1816)8月8日～10月23日

2010	2001	1923	1873	1828	1821	1818	1816	1804	1800	1795	1794	1781	1762	1745	西暦
						73	71	59	55	50	49	36	17	0	年齢
国宝に指定	「伊能忠敬関係資料2345点」 アメリカ議会図書館で伊能大図207枚発見	関東大震災、大日本沿海輿地全図副本焼失	皇居炎上、大日本沿海輿地全図正本焼失	シーボルト事件	大日本沿海輿地全図が完成	忠敬没	全国測量を終える	出 日本東半部沿海地図を幕府に提出	全国測量を始める	江戸深川黒江町に住み高橋至時の弟子となる	家督を長男景敬に譲り隠居	佐原村本宿組名主となる	佐原伊能家の婿養子となりミチと結婚。名を忠敬とする	現在の九十九里町小関に生まれる。幼名三治郎	主なきこと

伊能図の比較

大図の縮尺は3万6000分の1、中図の縮尺は21万6000分の1、小図は縮尺43万2000分の1ですので、小図と比較すると中図は縦横2倍、面積は4倍。中図と大図では縦横6倍、面積は36倍にもなります。



コンパスローズ

各地図の接合部分に描かれていて、複数の地図からできる伊能図を正確に貼り合わせます。



大日本沿海輿地全図(中図)

大日本沿海輿地全図は、大図が全部で214枚、中図が8枚、小図が3枚で構成されています。
東京国立博物館所蔵 Image:TNM Image Archives

測量器具を探る

忠敬の測量は地上測量と天体観測を組み合わせて実施したことに特徴がありました。

地上の測量では、地形を知るために、海岸線や街道に沿って目印となる梵天をいくつも立てて、その間の直線距離と角度（方位）を繰り返してはかっていくことが基本となりました。しかし、こうした方法では誤差が積み重なっていき

ます。そこで、誤差が生じていなかを確認するため、基準となる山をいくつも決めて、各地からそ

の山の方位（角度）をはかるなどしています。

そして誤差を補正するうえで、もともと役立ったのが、天体観測によって各地の緯度や経度を測定する方法です。緯度の測定には、北極星などの星の高度をはかるた

めに象限儀（中）を使いました。経度の測定には、日食や月食、木星とその衛星の動きなどを利用しました。忠敬が地図の精度を飛躍的に向上させることができた最大の要因は、緯度や経度を測定して

歩測

距離をはかる

忠敬の歩幅は約70cmと言われている。一定の歩幅で歩き、その歩数で距離を計算しました。ただ、主として鉄鎖や間縄が使用されました。

鉄鎖



間縄



象限儀(中)

星の角度をはかる

北極星など星の角度をはかる天体観測の器具です。観測した結果から測量地点の緯度を計算。全国測量約3,700日の期間中、1,000カ所以上の場所で行いました。伊能図にある星印は天体観測を行った場所です。



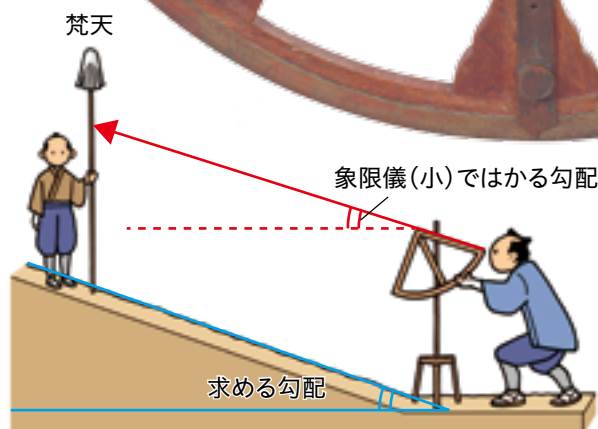
象限儀(小)

坂道の角度をはかる

坂道の勾配の角度をはかる器具です。坂道をそのままはかると、距離が長くなります。そこで坂道の角度をはかり、地図に必要な水平距離を計算しました。



象限儀(小)ではかる勾配



求める勾配

量程車

距離をはかる

動かした距離をはかる器具です。引いて歩くと、下についている車輪と連動して歯車が回り、測定した距離を数字で表示します。



わんか羅鍼

方角をはかる

道路の曲がる角度などをはかる器具です。杖の先に羅針盤があり、角度1度まで読むことができます。方位磁石を使用しているので、測量する人は刀の代わりに木の刀を差しました。

方角をはかる



梵天



伊能忠敬記念館

小野川を挟んだ旧宅の対岸に1998年に開館しました。国宝に指定された伊能図や測量器具、書状などを展示。豊富な資料で忠敬の人生を年代順に追い、忠敬の偉業と伊能図の魅力を余すことなく紹介します。



国宝指定 伊能忠敬関係資料2,345点(平成22年)



半円方位盤

遠くの山や島の方位をはかるための器具です。方位磁石や角度をはかる目盛がついています。



観星鏡

星や遠くの山を観測するための望遠鏡です。



測食定分儀

日食や月食を観測するための器具です。観星鏡に取り付けて使用します。

垂揺球儀

振り子が振れた数を記録する器具です。太陽が一日かけて同じ位置になるまでの間に、振り子が何万回振れたかをはかります。経度測量に用いました。



世界から、 斯界から

伊能忠敬没後200年に先立ち、世界および日本の伊能忠敬関係者や研究者から顕彰の辞を寄せていただきました。伊能忠敬の偉大さ、伊能図の価値の高さに改めて驚嘆します。

伊能忠敬研究会理事 名誉代表

渡辺 一郎



「デジタル伊能図」 共同企画編集・データ制作 地図製作会社役員

猪原 紘太



忠敬と伊能図について情報発信を始めてから二十年を越えた。香取市との御縁は1995年フランスの伊能中図の中央公民館招聘に始まる。これが大成で現在の盛況に至った。

ついで江戸東京博に伊能忠敬展を提案。名誉館長児玉幸多先生の一言で1998年開催と内定。展示の目玉に心掛け英国小図借受けを申し込んでいたが、共催の朝日新聞が引き継ぎ実現した。引続き伊能研究会と日本ウオーキング協会、朝日新聞社共催の伊能ウオークを催行。ひと山越えたなと思つて、家内と旅行をしていてアメリカ大図207枚を発見する。アメリカ大図利用の床展示を催行したが、現在香取市が各地に貸出し展を始めている。ごく最近では国立公文書館で北海道の針突本の小図を発見。この図から見るかぎり、北海道図では忠敬の第一次測量データは使われず、間宮のデータが利用されたと推測される。未発見の伊能図はまだまだ日本内外に多数残っている、というのが実感である。

伊能家8代目当主

伊能 淳



忠敬の遺品や功績は曾祖母の孝が、住んでいる旧宅で来訪者に説明していました。祖父康之助が旧宅と遺品を佐原市に寄付して初代の記念館ができ、残っていた私物を整理した時のことを覚えています。私も定年となりこれからを考えますが、不肖の子孫はさておき、地域に貢献し、隠居してから偉業を成した忠敬が今も人に伝え続けるものがあるのなら幸いです。



完全復元伊能図フロア展

シーボルト末裔

ドイツ

コンスタンティン・フォン・
ブランデンシュタイン
ツェッペリン



Die Hokkaido-Karte hat Siebold selbst als das wichtigste Ergebnis seiner Japanforschungen bezeichnet. Daher ist die Bedeutung von Ino Tadataka, der wichtige Informationen für sie geliefert hat, gar nicht hoch genug einzuschätzen! Im Ergebnis wurde durch das Wirken der beiden Männer erstmals in der Welt eine präzise Karte des Inselreichs von Japan bekannt, die in vielen Ländern und für viele Zwecke, insbesondere für die Seefahrt, sehnstlich erwartet wurde.

元国土地理院院長

星 由尚



伊能忠敬は、現代の測量技術から見ると極めて初歩的ですが、全国を科学的に測量して巡り、我が国初の統一・系統的な実測による日本地図（伊能図）を作成しました。伊能図は近代地図の萌芽とも言え、明治政府は、近代国家地図の整備に活用し、約1世紀の長きにわたり、伊能図はその実用的価値を保ったのです。そして、現代の我々にとって、伊能図は、江戸後期の国土を実測して表現した地図として、過去の国土の状況を知るための重要な手掛かりともなっています。



国土地理院

木工職人

比嘉 康夫

先日伊能忠敬が測量に使用した中象限儀のレプリカ製作の依頼をいただきました。木部は私が製作しましたが、目盛は金属製で精密さが必要なため航空宇宙関連に携わる工場に発注しました。実物より簡易な目盛としましたが、製作は容易ではありませんでした。現代の機械でも製作が難しい目盛を、当時の職人は手作業で製作しています。精緻な仕事を通して職人の技術は確実に向上したことと思われ、伊能忠敬の測量が職人を育てた一面も大きかったのではないかと推測されます。



製作した中象限儀のレプリカ



フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト



Kinzigal_Burg-Brandenstein©KonradZerbe

ブランデンシュタイン城

日本北方の地図、すなわち北海道の地図は、シーボルトが彼の日本研究の中で個人的に一番重要な成果であった、と高く評価しておりました。そのため一番貴重な情報をもたらした伊能忠敬の重要さは、いくら高く評価してもし足り無い程です。このふたりの先人のお陰で、さまざまな国々の多様な目的のため、殊に航海上切望されていた多島国日本の非常に正確な地図が、初めて世界の知るところとなったことは大変感慨深いことです。

米国議会図書館

地理・地図部司書

アメリカ

ミーンズ 節子



米国議会図書館地理・地図部は、日本陸軍の模写した伊能忠敬の「大日本沿海輿地全図」（大図）全214枚のうち207枚を収蔵し、原本が失われた今日、最大のコレクションです。200年前の伊能の測量技術は当時の日本の最高の水準で、のちに英国船に添乗した幕府役人所持の伊能小図を高く評価した英国海軍は、これを基に海図第2347号（1865年）を作製しました。伊能の技術と努力が世界に通じたことを示すこの地図（海図）は、当部の主要コレクションの一つです。



伊能小図を基に英国海軍が作成した海図2347号
(米国議会図書館地理地図部所蔵)

From the world, from academia

These are complimentary words from those concerned with Ino Tadataka, and from researchers of the man and his work, both in Japan and abroad.

全国に忠敬の足跡を訪ねて……

日本を17年かけて測量した忠敬。今なお、その功績は全国で語り継がれ顕彰されています。北海道から九州まで―忠敬ゆかりの地を訪ねます。

ゆかりの地から

⑫伊能忠敬笹山領探索の会

会長 **加賀尾 宏一**（兵庫県篠山市）

平成22年10月に開催された地域学講座「伊能忠敬が測量した丹波の道」―篠山の史実（第7・第8次測量）―をきっかけに、丹波国多紀郡笹山領の足跡探しを始めました。第8次測量の帰路、笹山領に立ち寄った街道は62kmに及び、その足跡を伝えるべく「伊能忠敬笹山領測量の道」と刻んだ標柱を、今も残る歴史街道筋の要所ごとに12基設置しました。この標柱が郷土の歴史を後世に伝えてくれることでしょう。



標柱除幕式（篠山市西岡屋）



⑭ミュゼ灘屋

愛媛県伊予市since1808

測量隊が大雨のなか灘町に着き投宿した本陣・宮内小三郎家です。書院造りの「伊能の間」には、16の家紋をあしらった格子欄間などが往時のまま残されています。



⑮忠敬測量200年記念碑

福岡県北九州市since2001

忠敬の九州測量出発の地である旧小倉城下・常盤橋付近（長崎街道の起点）に、忠敬測量200年を記念して、伊能忠敬小倉顕彰会によって建立されました。



⑪池田栄齋宅跡

石川県鳳珠郡穴水町since2012

忠敬が能登半島の測量時に宿泊した川嶋村の庄屋・池田栄齋の自宅跡です。穴水町まちなか再生協議会によって、記念案内板が作製されました。



⑬箱田良助誕生地記念碑

広島県福山市神辺since2001

忠敬の弟子として測量隊に参加した箱田良助の誕生地です。良助は、幕末に活躍した榎本武揚の実父です。

⑦富岡八幡宮・銅像

東京都江東区since2001

1800年6月11日（旧暦 閏4月19日）の早朝に富岡八幡宮に参詣して蝦夷地測量の旅に出かけました。以後、第8回全国測量までは必ず参詣して出発しました。伊能測量開始200年を記念して銅像が建立されました。



⑯松浦史料博物館

長崎県平戸市since1955

平戸藩主松浦家に伝来する歴史資料を展示する博物館です。館内には松浦家に献上された伊能図の現物も展示されています。



⑩伊能忠敬先生絶賛の地（番所鼻自然公園）

鹿児島県南さつま市since1956

忠敬が「天下の絶景」と絶賛した地で、開聞岳の美しい姿が眺望できます。総理大臣鳩山一郎（当時）の書による「伊能忠敬先生絶賛の地」と記された石碑が建立されています。



ゆかりの地から

①北海道福島町

町長 **鳴海 清春**

北海道最南端に位置する福島町は、伊能忠敬が寛政12（1800）年5月（旧暦）に、蝦夷地測量のため北海道に初上陸した地であります。福島町の吉岡に上陸後、町内に滞在し、測量を開始して函館へと向かっております。これを記念して、没後200年となる平成30年3月には、上陸した吉岡に忠敬の測量姿の銅像を配置した「伊能忠敬北海道測量開始記念公園」が完成します。香取市の皆さんもぜひ北海道福島町にお越しください。



②函館山忠敬レリーフ

北海道函館市since1957

平地から山の方位角を測る忠敬にしては珍しく、函館山に登り方位を計測。蝦夷地測量の最初の起点となりました。



⑤伊能忠敬銚子測量記念碑（犬若岬）

千葉県銚子市since2013

太平洋に突き出た銚子からは富士山が目視できます。1801年犬若岬から富士山を方位測定。測量精度を確認し自信を深めました。



⑥伊能忠敬記念公園・銅像

千葉県九十九里町since1995

忠敬生誕250周年を記念して、出生地の九十九里町小関に記念公園がつけられました。



③伊能忠敬測地遺功表

東京都港区芝公園since1965

1889年東京地学協会がその功績を顕彰して遺功表を建立。第二次大戦中に失われましたが再建されました。



⑨源空寺・墓

東京都台東区東上野since1818

遺言により、師高橋至時の隣に葬られました。墓碑には佐藤一斎による忠敬の生涯が刻まれています。



⑩うみのホテル中田屋

静岡県熱海市since2015

測量隊が、200年前に熱海伊豆山の温泉宿「中田屋喜八」（現・うみのホテル中田屋）に宿泊したことを記念した標柱です。



④星座石

岩手県釜石市since1814

1801年釜石市唐丹を測量し、地元の葛西昌丞が記念して星座石と測量の碑を建てました。



④間宮林蔵記念館・生家

茨城県つくばみらい市since1993

忠敬と間宮は師弟関係にありました。伊能図には間宮の蝦夷地測量の成果が反映されています。

忠敬が歩いた足跡を訪ねてみよう！

伊能でGo

伊能忠敬測量隊の足跡をたどるスマホを使ったスタンプラリー！

アプリをダウンロードしてお楽しみください。
[伊能忠敬e史料館]



App Store



Google Play



Let us retrace Tadataka's footsteps throughout Japan

Exploring places related to Tadataka, from Hokkaido to Kyushu.

香取で巡る忠敬を巡る



伊能忠敬銅像(佐原公園)
日本近代彫刻の先駆者大熊氏広氏によるもの。有志により大正8年に建立。



観福寺
伊能家の菩提寺で、毎年5月17日の命日には忠敬を偲び墓前祭が行われます。



つまようじ 爪楊枝アート
佐原高校が平成27年の文化祭で制作。現在は伊能忠敬記念館で展示。



しょうげん ぎ 象限儀
市内には象限儀のオブジェがいくつもあります。写真は伊能忠敬記念館のもの。

ARで巡る
市内ゆかりの地

スマホを使って動画が楽しめます。アプリをダウンロードしてこのページにかざしてください。

※詳しくは市ホームページへ

ココアル
COCOAR2

iOS・Android対応



伊能忠敬記念館学芸員の解説に親子で聞き入る

スケールの大きさを体感できる 伊能大図フロア展

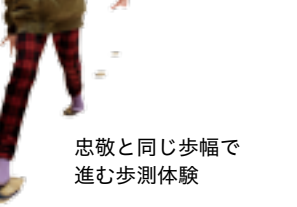
フロアいっぱいに広げた伊能大図原寸大パネルの上を、実際に歩いて体験できます。大人も子どもも伊能大図のスケールの大きさと地図の精確さに圧倒されました。香取市民文化祭月間特別事業として平成28年度はいぶき館で開催。



会場スペースの関係で東日本のみの展示となった



パネル展示で詳しく紹介。フムフム



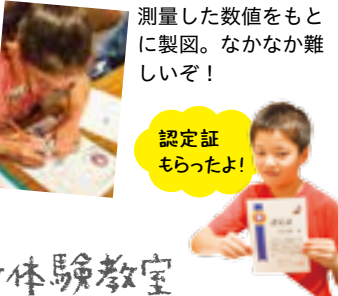
忠敬と同じ歩幅で進む歩測体験



方位盤で測定



巻き尺で距離を測定



認定証もらったよ!

夏休み子ども向け体験教室 忠敬の地図作りにプチ・チャレ!

毎年夏休みは、学芸員と一緒に忠敬の測量方法や地図の作り方を体験するワークショップが、伊能忠敬記念館で行われています。歩幅での測量方法や、梵天や方位盤など測量器具の使い方を教わり、実際に測量して地図を作製。忠敬は17年間、子どもたちは1時間かけて完成させました。



ワンカラシンが動くんだって

伊能忠敬に触れる 佐原公園 銅像清掃

普段見上げている忠敬さんに高所作業車で近づく、子どもたちは大興奮。清掃を通して郷土の偉人に触れる取り組みです。毎年、伊能忠敬大河ドラマ化推進協議会と佐原小学校が行っています。



水郷天文クラブが協力

八都小学校で開催 天体観望会

子どもたちは校庭に並ぶ望遠鏡に興味津々。真剣な眼差しで天体を観測しました。この会は香取・佐原ユネスコ協会が天文観測に造詣の深かった忠敬にちなみ開催しています。



地球ひろばでは解説員が質問に答えてくれる



楽しみながら学べる



子どもたちも楽しめる特別展



日本列島空中散歩マップ

測量の日! 国土地理院バスツアー

毎年、佐原青年会議所が開催し、6月3日の「測量の日」にちなんだ特別展を見学します。国土地理院「地図と測量の科学館」には「伊能図」「御用旗」「象限儀」という市民にはなじみ深い展示も常設されており、ここでも忠敬の偉大な功績を感じることができます。

ここにも忠敬の功績が



伊能図で香取市を探す



これを使って日本全国を測量したんだ



8枚のパネルを組み合わせ伊能図を作る

小学校で郷土の偉人に学ぶ 出前授業

佐原小学校は、毎年6月の「忠敬祭」で、体験しながら忠敬の功績を学ぶ授業を実施。平成29年度は小見川中央小学校でも開催し、伊能忠敬記念館学芸員によるワークショップで測量、歩測などを行います。



忠敬さんは歩幅が広い!

Children born in Katori will be future 'Chuhei-san' (the nickname for Tadataka).
Tadataka's spirit is inherited by the children of Katori.

忠敬を育んだまち香取。二百年の時空を超えて忠敬の精神が、このまちの子どもたちに受け継がれています。

香取で生まれ、未来の忠敬さん

ユネスコ無形文化遺産



― 佐原の山車行事 ―

UNESCO Intangible Cultural Heritage :
33 Yama, Hoko, Yatai, float festivals in Japan
The Sawara Float Festival

佐原の山車行事（佐原の大祭）が平成28年12月、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の第11回政府間委員会（アデイスアベバ・エチオピア）において、「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」へ記載（登録）されました。千葉県内の国指定文化財がユネスコの世界遺産や無形文化遺産へ登録されるのは初めてのことです。江戸時代から約300年間続く伝統と技が織り成す佐原の山車行事。時代の変遷を経て受け継がれてきた祭りへの熱い心意気は、ついに世界へと届けられました。



Feature story Katori, a city of both World and Japanese Heritage
UNESCO Intangible Cultural Heritage Sawara Float Festival

The Sawara Float Festival (Grand Festival), which has been held for about 300 years, since the Edo era, was registered on UNESCO's Representative List of the Intangible Cultural Heritage of Humanity in December 2016.

世界へ届いた佐原の誇り



山車24台が17年ぶりにそろう踏み(ユネスコ無形文化遺産登録記念祝賀山車曳き廻し)
平成29年4月29日 香取市佐原コミュニティセンターにて

ユネスコ無形文化遺産 登録までの歩み

平成21年「京都祇園祭の山鉾行事」と「日立風流物」のユネスコ無形文化遺産登録以降、無形文化遺産登録数の増加もあり、単独の「山・鉾・屋台行事」の登録が難しくなりました。そこで、文化庁では、類似案件をグループ化して提案する方針をとりました。

平成27年3月、佐原の山車行事を含む、国指定重要無形民俗文化財33件をグループ化し、登録済みの「京都祇園祭の山鉾行事」と「日立風流物」を含め「山・鉾・屋台行事」として提案しました。



市長とともに登録を喜ぶ(与倉屋土蔵にて)



パブリックビューイングで登録の瞬間を待つ

佐原の山車行事は代表選手

ユネスコの無形文化遺産は、傑出したものを公に宣言する方法(傑作宣言)から、すべての無形文化遺産の価値は同じであるとする考えに立ち、代表を選んで一覧表に記載する方法(記載)をとっています。佐原の山車行事も、日本代表として活躍し続けることで、類似する山車行事のさらなる啓発につながっていきます。



ユネスコ無形文化遺産に登録された「佐原の山車行事」は、それまで千葉県指定有形民俗文化財であった「佐原囃子」を包括し、平成16年2月6日に国の重要無形民俗文化財に指定されています。

佐原の山車行事は、町を南北に流れる小野川を境に、東の本宿八坂神社の祇園祭が7月、西の新宿諏訪神社の例大祭が10月と、年に2回執り行われます。佐原囃子の情緒的な音色に合わせ、山車が曳き廻されます。もともとは、地域の災いを払い、安泰を祈る神事に由来しています。

祭りの主役である山車は、主にケヤキ材で造られており、それぞれの町内ごとに特徴のある飾り付けがなされています。繊細な彫刻や玉すだれ、もう作り手がないと言われている日本最大級4.5メートルもある大人形が特徴です。町内の人の手による麦藁細工の鯉や稲藁細工の鷹などの飾り物も見逃せません。

見ごたえのある豪華絢爛かつ重厚な山車を、技を競いあつて曳く佐原の山車行事。江戸時代から約300年続く祭りには、誇りと技の伝承が欠かせません。

そのために、山車持ち町内での組織があります。区長、古役、当役、若連などに区分され、明確な上下関係の中、「うちが1番だ」という

同じ想いを共有しつつ、世代を超えた厳しくも温かい交流のもと、ありとあらゆる伝承がなされていきます。

自慢の山車を繰り出し、そして多くの他の山車(町)と切磋琢磨し、心や技を競い合いながら祭りを楽しむ「心意気」がまさに佐原の誇りなのです。

365日は祭りのためにあると言われるほど、佐原っ子は心底祭りが好きで、生活と祭りが結びついています。子どもの頃から身近に祭りがあり、親から子へ、年長者から年少者へ、300年余受け継がれてきた歴史の重みがここに見え隠れします。

佐原の誇りが世界に届いた喜びを胸に、これから先も見据えていかなければならないでしょう。



日本遺産



北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み

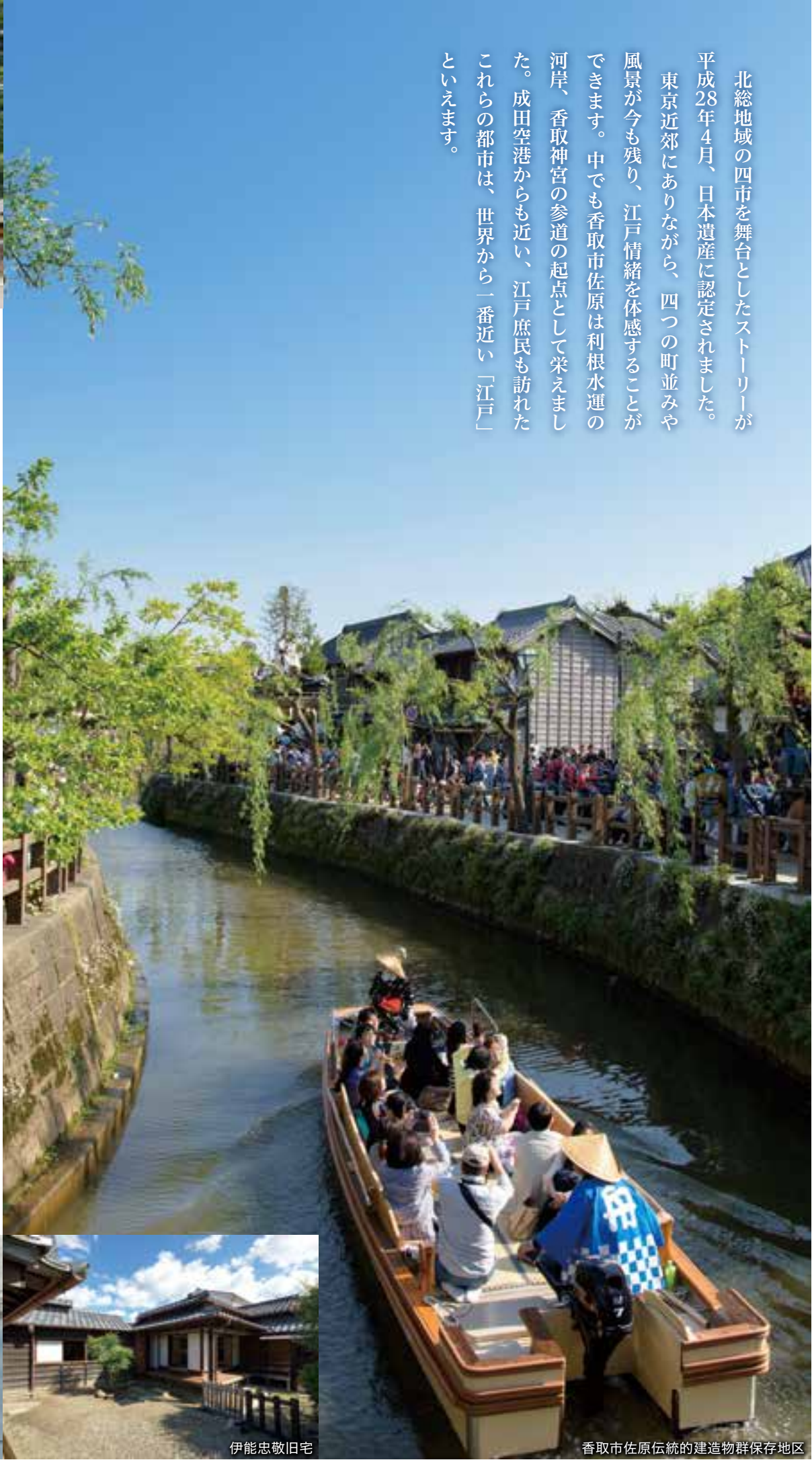
佐倉・成田・佐原・銚子 百万都市江戸を支えた江戸近郊の四つの代表的町並み群

日本遺産…地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもので、魅力ある有形・無形の文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図る制度。

Japan Heritage
An Edo Travelogue through Four
Hokuso Cities
Historic Hokuso townscape, rich
in the atmosphere of the Edo era
Sakura, Narita, Sawara and Choshi:
Four quintessential historical
districts lying in the suburbs of
Edo and supporting the megacity

A story of four cities of Hokuso, designated a Japan Heritage Site in April 2016, where you can feel much of the atmosphere of the Edo era

北総地域の四市を舞台としたストーリーが平成28年4月、日本遺産に認定されました。東京近郊にありながら、四つの町並みや風景が今も残り、江戸情緒を体感することができます。中でも香取市佐原は利根水運の河岸、香取神宮の参道の起点として栄えました。成田空港からも近い、江戸庶民も訪れたこれらの都市は、世界から一番近い「江戸」といえます。



商家の町 佐原のストーリー

「お江戸見たけりや
佐原へござれ、
佐原本町江戸優り」

江戸時代の佐原は下利根随一の河港商業都市で、江戸時代初めから酒造も始まり、廻米・酒造・商業の一大拠点でした。海難事故の多い房総沖を避け、銚子から利根川を遡って江戸に向かうルートが主要水運として発達したことで地の利を得た佐原。商家の町として、江戸優りと例えられる繁栄ぶりでした。

また、香取神宮参道の起点として参拝客でも賑わい、江戸後期には、行楽の船旅として三社詣で（香取神宮・鹿島神宮・息栖神社）が流行しました。水運隆盛による江戸との密接な関わりは、経済だけでなく地域文化も活性させ、その結果、伊能忠敬をはじめ多くの文化人を輩出しました。

ここ佐原では、江戸時代の町並みが残され、江戸情緒を感じながら散策し、往時の商人の暮らしを体感することができます。

◆佐原の町並み

（香取市佐原伝統的建造物群保存地区）

利根川に繋がる小野川沿い、街道沿いに多くの商家が軒を連ねた。平成8年に関東で初めて重要伝統的建造物群保存地区に選定。

◆伊能忠敬旧宅

伊能忠敬が佐原で30年余りを過ごした母屋と店舗などがそのまま残されている。

◆伊能忠敬関係資料

平成22年6月、2,345点が国宝指定。

◆佐原の山車行事

江戸時代から300年続く由緒ある山車行事。平成28年ユネスコ無形文化遺産登録。

◆香取神宮

下総国一の宮で、祭神は経津主大神。広く崇敬されている。

◆津宮河岸（常夜燈）

香取神宮の一の鳥居が利根川に面して立つ、津宮鳥居河岸。かつては香取神宮への表参道口。

◆佐藤尚中誕生地

下総国小見川出身の佐藤尚中（山口舜海）は、江戸で西洋医学を学び、順天堂医院（後の順天堂大学）を開いた近代医学の中心人物。



城下町 佐倉

佐倉は江戸の東を守る要所として栄えた城下町です。佐倉城跡（佐倉城址公園）、佐倉武家屋敷、旧堀田邸などで城下町の面影が偲べれます。

門前町 成田



成田は、成田山新勝寺の門前町として栄えてきました。参詣客で賑わう成田山新勝寺と門前の町並み、宗吾霊堂で江戸情緒を楽しめます。



港町 銚子

銚子は、太平洋に面した好漁場で、江戸に魚を供給した港町。かつ、醤油の町。屏風ヶ浦の断崖絶壁などの自然景観は、古来より人々を魅了してきました。



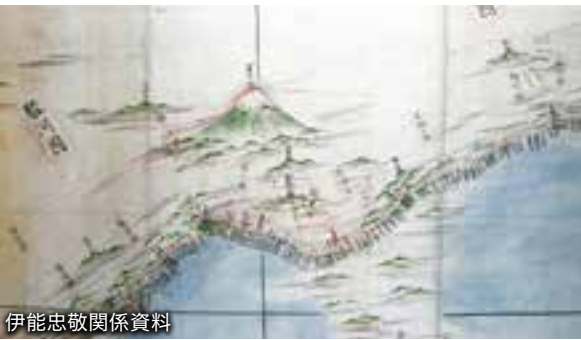
佐原の山車行事



津宮河岸の常夜燈



佐藤尚中誕生地



伊能忠敬関係資料



伊能忠敬旧宅

香取市佐原伝統的建造物群保存地区

香取市 12年の歩み

2006年(平成18年)3月、佐原市と小見川町と山田町と栗源町の1市3町が合併し香取市が誕生しました。それは理想のまちづくりの始まり。香取市12年の歩みを写真で振り返ります。

香取市の誕生



香取市開市式



市民体育館での初議会



香取駅の新駅舎が完成



千葉国体が開催



第1回香取小江戸マラソン大会



水の郷さわらオープン



水生植物園 開園40周年

市民協働で取り組む学校整備

児童・生徒数の減少に伴う学校の小規模化に対応した教育環境の向上を図るため、平成22年に学校等適正配置計画実施プランを策定しました。学校の再編は、市民の皆さんと協働で推進しており、平成29年末現在、小学校8校が統合の準備中です。また、平成27年度には、県内でもいち早く、全ての普通教室にエアコンを設置したほか、学校の耐震化を完了し、順次大規模改修を実施しています。平成29年度からはトイレの洋式化に取り組んでいます。

1889年	明治22年	小見川村・本郷村・八日市場村・野田村・下小川村・羽根川村・南原地新田・新々田村・中沼村が合併し小見川町が発足
1924年	大正13年	栗源町町制施行
1951年	昭和26年	佐原町・香取町・東大戸村・香西村が合併し佐原市が発足
1954年	昭和29年	小見川町に豊浦村・神里村・森山村が合併
1955年	昭和30年	府馬町・八都村・山倉村が合併し山田町が発足
1955年	昭和30年	小見川町と良文村が合併
1955年	昭和30年	佐原市が新島村・大倉村・津宮村・瑞穂村と合併
2006年	平成18年	香取市誕生（佐原市・小見川町・山田町・栗源町が合併）
2006年	平成18年	初代市長に宇井成一氏が就任
2006年	平成18年	旧1市3町76人の議員による初議会を開催
2006年	平成18年	香取市合併記念式典を挙行、市章を制定
2007年	平成19年	市議会議員選挙（定数30人）
2007年	平成19年	市の花・木・鳥を指定
2007年	平成19年	市内小中学校で2学期制を開始
2007年	平成19年	北総西部衛生組合と香取広域市町村圏事務組合が統合
2008年	平成20年	全国市町村あやめサミットを香取市で開催
2008年	平成20年	乳幼児医療費助成対象拡大
2008年	平成20年	香取駅の新駅舎が完成
2009年	平成21年	香取市総合計画を策定
2009年	平成21年	水郷佐原水生植物園開園40周年記念式典を挙行
2009年	平成21年	全国山・鉾・屋台保存連合会総会佐原大会を開催
2010年	平成22年	香取市初 功労者3人に市民表彰を授与
2010年	平成22年	栗源小学校、沢小学校、高萩小学校が統合
2010年	平成22年	第1回香取小江戸マラソン大会を開催
2010年	平成22年	道の駅・川の駅「水の郷さわら」がオープン
2010年	平成22年	香取市長に宇井成一氏が再選（2期目）
2010年	平成22年	伊能忠敬関係資料2345点が国宝指定
2010年	平成22年	兵庫県川西市と姉妹都市協定を締結
2010年	平成22年	千葉国体開幕（市内で3競技を開催）
2010年	平成22年	市議会議員選挙（定数25人）

The 12-year history since the birth of Katori City

Katori City was created in March 2006. These photos illustrate the history of the city over the past 12 years.



2011.3.11



香取市災害義援金

1,472 件 1億4,380万9,599円

地域の団結力

震災後、「つながろうかとり」を合言葉に、地域の団結力が強まってきました。自主防災組織の結成が進み、現在113組の組織が立ち上がりました(平成29年末)。

ボランティア活動への関心も高まり、その登録者数は県内1位の2,261人です(平成30年2月1日現在)。

また、おおむね小学校区単位で設立されるまちづくり協議会(住民自治協議会)も続々と立ち上がり、21協議会が活動しています(平成28年度末現在)。

建物被害

被害認定	全壊	224 棟
	大規模半壊	1,112 棟
	半壊	1,412 棟
	一部損壊	3,473 棟
	計	6,221 棟
	(うち液状化によるもの 2,863 棟)	

液状化被害状況

液状化面積	約 3,500 ha (東京ドーム 約 750 個分)
住宅地液状化面積	約 140 ha

道路・河川などの被害

市道路被災	657 カ所
河川被災	護岸亀裂・傾斜など 21 件
他に、千葉県管理一級河川小野川の河床隆起、護岸崩壊がありました	
急傾斜地被災	1 件

農業関係被害

液状化などの被害 { 農地・農業用施設が被災
水稲被害 }

	作付不能	収量減	損害額
当初	2,500 ha	14,000 t	約 28 億円



震災復興のシンボルマーク

上水道被害

断水世帯	19,768 世帯
被災延長	19,111 m

下水道(集落排水含)

影響世帯数	1,780 世帯
被災延長	16,058 m

- 3月 東日本大震災により甚大な被害を受ける
- 市民憲章制定、香取市まちづくり条例制定
- 佐原駅の新駅舎が完成
- 4月 地域自治区制度を廃止
- 9月 オリジナルナンバーの交付開始(原付バイク)
- 11月 香取市災害復興計画を策定

2011年 平成23年



竜谷バイパスが開通



製作：松竹(株)

松本幸四郎特別公演



リニューアルした水郷佐原あやめパーク



さつき館オープン



消防本部・佐原消防署の新庁舎



新島中学校の新校舎



佐原駅前広場が完成



いぶき館オープン



合併10周年に作った
香取市ロゴマーク



香取市学校給食センター

子育てが しやすいまちへ

子どもが病気やケガで受診した場合の医療費の自己負担を、原則200円までとする「子ども医療費助成事業」の対象が、平成26年から高校生世代まで拡充されました。高校生世代までの助成は、県内37市中、香取市を含め4市だけです。(平成29年度現在)
また、子どもの予防接種や健診スケジュールをメールで自動配信してくれる子育てモバイルサービス「予防接種ナビ」が始まりました。



予防接種ナビ

2018年 平成30年	1月 茨城県つくばみらい市と友好都市協定を締結 沢バイパスが開通	3月 曙太郎氏に香取市応援大使を委嘱 おみがわこども園開園	4月 水郷佐原あやめパークに改称	2017年 平成29年	2月 茨城県潮来市・稲敷市・神栖市と「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結	3月 曙太郎氏に香取市応援大使を委嘱	4月 おみがわこども園開園	7月 株式会社成田香取エネルギーを設立	11月 ごみ袋値下げ	12月 佐原の山車行事など全国33件の祭礼行事が「山・鉾・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に認定	2016年 平成28年	3月 十六島出張所の消防庁舎が完成	4月 茨城県つくばみらい市とふれあい交流に関する協定締結	9月 佐原中学校と佐原第三中学校が統合	10月 佐賀県鹿島市と友好都市協定を締結	11月 香取市合併10周年記念式典・山車特別曳き廻し	12月 佐原を含む「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」が日本遺産に認定	2015年 平成27年	3月 竜谷バイパスが開通	4月 新島小学校と湖東小学校が統合	9月 佐原駅前広場が完成	10月 全小中学校普通教室にエアコンを設置	2014年 平成26年	3月 佐原消防庁舎及び栗源分遣所庁舎が完成	4月 香取市与田浦太陽光発電所で発電開始	5月 小見川北小学校と利北分校が統合	6月 香取神宮式年神幸祭が開催	7月 香取市長に宇井成一氏が再選(3期目)	8月 九代目松本幸四郎特別公演が開催	9月 栗源市民センター「さつき館」がオープン	10月 市議会議員選挙(定数22人)	2013年 平成25年	2月 愛知県安城市と災害時相互応援協定を締結	3月 香取市学校給食センターが完成	4月 岩手県山田町と災害時相互応援協定を締結	5月 小見川市民センター「いぶき館」がオープン	6月 新島小学校と大東分校が統合	7月 市役所に総合窓口を開設	8月 第62回利根川水系連合水防演習が佐原河川敷で開催	9月 新島中学校の新校舎が完成	2012年 平成24年	4月 伊能忠敬まつり「完全復元 伊能大図展」を開催	5月 福島県喜多方市と友好都市協定を締結	6月 佐賀県鹿島市とまちづくり連携に関する協定を締結	7月 佐賀県鹿島市とまちづくり連携に関する協定を締結	8月 佐賀県鹿島市とまちづくり連携に関する協定を締結	9月 佐賀県鹿島市とまちづくり連携に関する協定を締結	10月 佐賀県鹿島市とまちづくり連携に関する協定を締結	11月 佐賀県鹿島市とまちづくり連携に関する協定を締結	12月 佐賀県鹿島市とまちづくり連携に関する協定を締結
----------------	--	-------------------------------------	---------------------	----------------	---	-----------------------	------------------	------------------------	---------------	---	----------------	----------------------	---------------------------------	------------------------	-------------------------	-------------------------------	--	----------------	-----------------	----------------------	-----------------	--------------------------	----------------	--------------------------	-------------------------	-----------------------	--------------------	--------------------------	-----------------------	---------------------------	-----------------------	----------------	---------------------------	----------------------	---------------------------	----------------------------	---------------------	-------------------	--------------------------------	--------------------	----------------	------------------------------	-------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------

豊かな暮らしを育む 歴史文化・自然の郷 香取

～人が輝き 人が集うまち～

これまで香取市は、合併による新市のまちづくりを進めてきました。その間、東日本大震災からの復興という大きな課題に取り組み、そして現在は人口減少問題をはじめ、さまざまな課題への対応が求められています。そこで、市民、企業等と行政が一体となったまちづくりを進めるための新たな「香取市総合計画」を策定します。

将来都市像

豊かな暮らしを育む 歴史文化・自然の郷 香取
～人が輝き 人が集うまち～

キーワード



かな暮らし
を育む

老若男女を問わず、全市民が、日々の暮らしの中でそれぞれの希望や理想の実現に向けて、活動、活躍できるまちを目指します。



史文化・
自然の郷

豊かな自然と、歴史・文化などの地域資源を生かしながら、郷土の誇りと愛着を育みます。



が輝き
人が集う

市内外から多くの人が集まり、交流し、それぞれの個性を活かしながら、共にまちづくりを進める活気あふれるまちを目指します。

総合計画の構成

総合計画は、基本構想と基本計画と実施計画で構成します。

基本構想

基本構想

2018～2027年度

- 市の将来都市像、まちづくりの方向性を内容とする、長期の計画です。
- 計画期間…10年間

基本計画

前期基本計画

2018～2022年度

後期基本計画

2023～2027年度

- 基本構想で示した将来都市像を実現するための手段(施策)で構成する、中期の計画です。
- 計画期間…前期5年間、後期5年間

実施計画

前期第1次
実施計画

前期第2次
実施計画

後期第1次
実施計画

後期第2次
実施計画

- 基本計画の施策を達成するために具体的な事務事業を示すものです。
- 行動計画…3年間(毎年度見直し)

The Second Comprehensive Plan
The basic plan for the first term: FY 2018-FY 2022
Katori, a town of history, culture, and nature, fostering a good life
A town that welcomes people with brilliant smiles

A comprehensive plan has been formulated to offer a clear direction for the future town planning required to ensure a high quality of life for Katori's citizens. We promote town planning through the concerted efforts of citizens, industries, and administrative authorities.

人を惹きつける まちづくりプロジェクト



歴史・食などの優れた地域資源を活用し、地域の魅力を最大限に活かす取り組みを行います。また、移住・定住の促進や交流人口の増加を図り、市外からの人の流れを新たに創出します。

多様な働く場づくり プロジェクト



住み慣れた地元で、成長とやりがいを感じられる魅力的な雇用の場を創出し、生活基盤の支えとなる雇用環境の充実を図ります。成田国際空港圏の強みを生かして、既存産業の活性化や企業の誘致、創業支援などに取り組みます。

次世代へ続く地域づくり プロジェクト



将来にわたって活力あるまちであり続けるために、市民、地域、企業等との協働によるまちづくりを目指します。また、多様化している市民ニーズや課題に対応できるよう、効率的な行財政運営を推進します。

安心・安全な子育て環境 づくりプロジェクト



子育て世代が、安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。結婚から子育てまで一貫した支援を充実させ、地域全体で子育て家庭を支えます。

重点プロジェクト

少子化や人口減少などの最大課題を解決し、4つの重点プロジェクトを設定します。基本構想に掲げる将来都市像の実現に向けて、

》かとりの未来まちづくりワークショップ



総合計画審議会



活発な議論がなされました

並木 一茂さん(レストランシェフ)

子どもが生まれたこともあり、教育には関心がありました。幅広い世代の意見を聞くことで、道路整備や建物、廃校となった校舎の活用などにも関心が芽生えました。このまちの魅力のひとつに豊かな食材があります。豊穡の大地と良き生産者がいる香取市は食材の宝庫です。



ワークショップに参加して&かとりの魅力は？



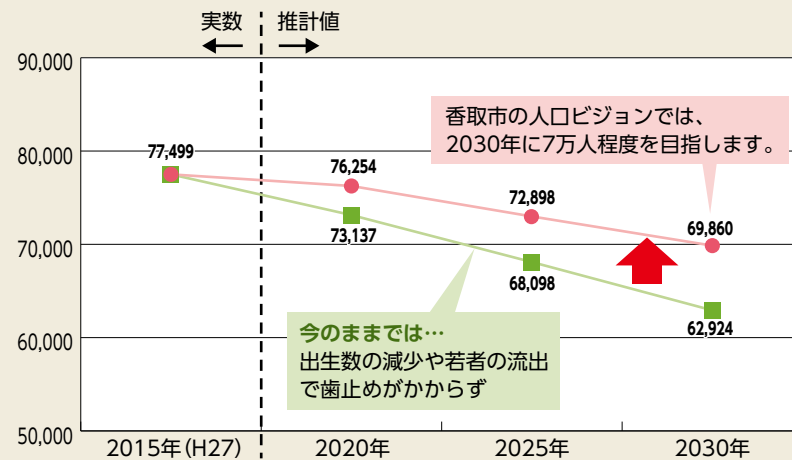
亀村 拓洋さん(佐原高校)

高校生とは見ているところが違うなあと感じました。参加したての頃は「まちづくり＝観光」のイメージを持っていましたが、子育て環境や道路など生活に関する意見を聞くことができ新鮮でした。香取市の魅力は佐原の大祭です。小さい頃から参加しているので世代を超えて関わりが持てます。



将来人口の見通し

平成27年度に香取市人口ビジョンを策定しました。この将来人口の推計に基づき、まちづくりを進めていきます。



5年後の目指す姿

5 自然環境・省エネ

市民ボランティア活動と連携し、自然保護や環境への負荷低減の意識を醸成します。豊かな自然環境が保全され、自然と共生するまちになっています。

6 廃棄物処理・再資源化

ごみ処理の責任体制を明確にします。市民、事業者、行政の協働の下、ごみの発生抑制、再利用・再資源化の推進により、適正処理が図られる資源循環型のまちになっています。

7 公園・緑地・水辺空間

公園や緑地などの適正な管理や整備を行います。健康づくり・レクリエーション活動や憩いの場として活用されています。

8 交通安全・防犯

カーブミラーやガードレール等の交通安全施設の設置や防犯活動への支援を行います。交通事故及び刑法犯罪が減少し、安心・安全に暮らせるまちになっています。

9 防災・消防・救急

減災の考え方を基本とした自助・共助による助け合いで地域防災力が向上しています。また、市の防災対策及び消防救急体制が整っています。

10 市民相談・消費者相談

市民相談窓口や消費者相談窓口が市民に広く認知されます。誰もが気軽に相談でき、適切なアドバイスが受けられる相談体制が整備されています。



与田浦太陽光発電所

安心して安全に暮らせ、住み続けたいまちにするためには、暮らしに密着する生活環境を整えるとともに、災害や犯罪・事故等による被害の防止・低減を図ることが必要です。

また、本市は、里山の豊かな緑を有し、かつては利根川の水運の要衝として栄え、現在では全国「水の郷百選」にも選ばれるなど川とともに歩んできています。これらの水と緑は市民の安らぎの場、水鳥等の生態系に触れられる貴重な場となっており、その保全を図るとともに将来へ引き継ぐことが必要です。

市民が水と緑に触れることで安らぎを感じ、安心・安全に暮らせるまちの実現を目指します。

安心して安全に暮らせ、住み続けたいまちにするためには、暮らしに密着する生活環境を整えるとともに、災害や犯罪・事故等による被害の防止・低減を図ることが必要です。



訓練に励む消防団員

水と緑のやすらぎを感じ、
安心・安全に暮らせるまちを創る

生活・環境の向上



里山の豊かな緑に囲まれた橋ふれあい公園は市民の安らぎの場所

Improvement of the quality of life and the environment

We make Katori secure and safe for every citizen to be blessed by the peace offered by unspoiled water and greenery.



産業の活性化によりまちの活気を高め、
賑わいのあるまちを創る

産業・経済の振興

県内有数の農業産出額を誇る香取市。早場米の産地として知られている



農業と観光による6次産業化の取り組み



小見川工業団地

少子高齢化の進行により生産年齢人口が減少していく中で、本市が持続的に成長していくには、基幹産業である農業や、多様な地域資源を活用した観光施策を推進することで、活力ある産業を育むとともに、新規雇用の創出に向けた取り組みが必要です。

また、農商工関係団体等と連携し、地域経済の発展に向けた産業活力の向上を図る必要があります。

香取市の強み、魅力を情報発信し、産業の活性化を図ることで、まちの活気を高め、成長力のあるまちづくりを目指します。



リニューアルした水郷佐原あやめパーク

5年後の目指す姿

1 農林畜産業

次世代農業の担い手を増やし、育成します。生産力の強化と消費者ニーズに対応した農林畜産物を生産することで、活力と魅力にあふれています。

2 商工業

新規創業者や事業拡大等による、空き店舗の解消を目指します。既存商店街の魅力が向上し、地域で買い物が行われ、買い物客で賑わう商店街が形成されています。また、雇用の受け皿となる多くの優良な事業所等が立地しています。

3 企業誘致

地域経済の基盤となる企業の立地を進めます。市民が市内で働く意欲が湧く様々な業種や職種の雇用の場が確保され、地域経済が活性化しています。

4 観光

市内に点在する観光資源を磨き、組み合わせ、新しい魅力を創出します。これにより、観光客の滞在時間が長くなり、観光に関連する産業が活性化しています。

Promotion of industry and the local economy

We make Katori a bustling and lively city through industrial vitalization.

5年後の目指す姿

19 教育施設・環境の整備

学校等適正配置計画実施プランに基づき、適正配置や教育環境の改善及び老朽化した施設の長寿命化が図られています。

20 学校教育

児童生徒の「生きる力」を育成しています。確かな学力・豊かな心・健やかな体を育める教育環境が充実しています。

21 青少年育成

家庭、学校、地域の見守りにより、青少年の豊かな人間性が育まれています。社会生活を営む力と人生を切り拓く創造力を身に付け健やかに成長して、自立できる環境が整っています。

22 生涯学習

誰もが気軽に文化や芸術などに触れ、学習意欲を満たされるまちとなっています。また、得られた知識や成果を地域社会に生かし、活動を通じて生きがいや地域との交流を持つ豊かな人生を送る市民が増えています。

23 生涯スポーツ

スポーツを「する」ことはもちろん、「観る」「支える」といった様々な形でスポーツに親しみながら、健康で活力ある生活を送っています。

24 歴史・文化

指定文化財の保存活用や、伊能忠敬記念館のハード・ソフト面での充実を推進しています。伝統文化や指定文化財、重要遺跡等が地域の人々の協力によって継承されています。



香取神宮をスタートする香取小江戸マラソン大会

未来を担う子どもたちが、心豊かで健やかに育つことができるよう、教育環境の充実を図るとともに地域等が一体となって教育を支援する必要があります。また、香取市は、香取神宮や佐原の大祭など歴史と文化が生活の中に息づき、貴重な歴史的・文化的資源が保存・継承されています。特色のある学校教育などを通じて、郷土愛を抱き、未来を担う人を育んでいきます。そして、老いてもなお勉学に励み、活躍した伊能忠敬翁にならい、誰もが生涯にわたって学び、活躍し続けるまちを目指します。



里神楽演舞会で郷土芸能を体験

地域の歴史・文化を知り、未来を担う人を育むまちを創る

教育・文化の振興



健康・福祉の充実
支え合い、健康で生き生きと自分らしく暮らせるまちを創る

児童館や子育て支援センターなど地域で子育てをサポート



骨折予防教室で健康づくり

市民一人ひとりが、生き生きと活動、活躍するためには、心身ともに健康で必要な支援やサービスを受けられる体制の充実が必要です。また、住み慣れた地域で、自分らしく暮らすためには、社会保障が充実し、地域のつながりを強め、子育てや高齢者、障害者の暮らしを、地域で支えなければなりません。年齢に関わらず、障害のある人もない人も誰もが支え合いながら、健康で生き生きと自分らしく暮らせるまちを目指します。

地域医療を支える
小見川総合病院



5年後の目指す姿

11 地域福祉

助け合い、支え合う、お互いさまの意識が育まれています。地域課題を主体的に解決する地域力の強化と、課題解決に向けた支援体制が構築されています。

12 介護・介護予防

健康づくりや地域コミュニティに参加する元気な高齢者が増え、介護が必要になっても重度化を予防しながら安心して生活を送っています。

13 高齢者の生きがい

高齢者が知識や経験を生かして社会に参加し続けています。地域の支えとなり、住み慣れた地域で安心して生き生きと暮らしています。

14 子育て

安心して子どもを産み育てることができ、子どもたちが健やかに笑顔で生活できるまちとなっています。

15 障害者福祉

障害のある人もない人も、ともに生き支え合っています。公共空間は、多くの人が利用しやすいユニバーサルデザインに基づいて整備されています。

16 健康づくり

生活習慣病予防のための健診、健康指導・相談等や妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援が充実し、病気を予防して健康で元気に暮らしています。

17 地域医療

安心で安全な医療の提供による地域医療体制が充実し、市民が健康で元気に暮らしています。

18 社会保障

資格管理・医療費の適正化を推進し、国民健康保険・後期高齢者医療保険制度が健全に運営されています。生活に困窮した人たちへの支援が充実し、生活困窮状態が改善されています。

佐原小学校の忠敬祭。伊能図を間近に見て驚く子どもたち

Promotion of education and culture

We make Katori a city where every citizen is familiar with the local history and culture, creating an environment that nourishes those who will bear the weight of the future.

Improvement of health and welfare

We make Katori lively so that every citizen can live their life in good health and high spirits, supporting each other.

5年後の目指す姿

33 市民協働

住民自治協議会をはじめ、様々な市民活動団体の主体的な活動を支援・推進しています。市民が主体となって、地域の課題やニーズに応じ、積極的に地域づくりに取り組んでいます。

34 人権

立場や性別に関わりなくお互いを尊重し、ともに支え合うことができます。個性を輝かせ、持てる能力を発揮して、安心・安全に生活しています。

35 国際交流・地域間交流

本市を訪れる外国人の受け入れ体制が整い、国際交流が盛んに行われ、来訪者が増加しています。また、姉妹・友好都市との市民レベルの交流がさらに深まっています。

36 広報・広聴

市政に関する情報が的確に公表され、市民の意見が十分に反映された市の行政運営や計画等の策定、重要施策が決定しています。

37 行政運営

第2次香取市総合計画を推進しながら民間等との連携を進め、限られた人的資源を効果的に活用し、簡素で効率的な行政運営が行われています。

38 財政運営

中長期的な財政見通しのもと、将来に向けた自主性・自立性の高い、持続可能な財政運営を行っています。



ロビーコンサートは市民発表の場

予算や人員など限られた経営資源を有効に活用したまちづくりを進めるためには、地域が持つ力を最大限に発揮でき、市民がまちづくりに積極的に関わりを持つことが必要です。

また、人口減少や少子高齢化、市民ニーズの多様化が進む中、情勢に対応した行政サービスを提供していくためには、将来にわたって持続できる行財政運営を確立することが必要です。

市民と行政が互いに持つ力を十分に発揮でき、将来にわたって発展が可能なまちの実現を目指します。



香取市役所本庁舎



リニューアルした広報かとり

みんなが力を発揮して将来に続くまちを創る

市民参画・行政の取組



佐原駅を中心としたエリアで都市機能の集積が進む



多くの人が訪れる小野川沿い

誰もが安全に快適な暮らしを続けるためには、災害に強いインフラ施設の整備を計画的に進め、機能的で利便性の高い都市基盤を築く必要があります。

また、小野川沿いの歴史的な町並みは市内外の人々が多く訪れ、交流する場となっています。小野川沿いを玄関口として、訪れた人々が市内を回遊できるよう、市街地等で魅力あふれる場づくりを進める必要があります。

誰もが安全に暮らし、快適で魅力にあふれるまちの実現を目指します。



地域の公共交通を支える循環バス

5年後の目指す姿

25 土地利用

良好な自然環境や歴史的資源等と調和のとれた土地利用が図られています。地籍調査を計画的に進め、土地資産の保全や継承、社会資本整備の円滑化等、調査実施による効果が創出されています。

26 市街地整備

駅を中心とするエリアに都市機能の集積が進んでいます。多様な世代の市民が様々なサービスを受けられるとともに、来訪者と市民の交流が活発な市街地が形成されつつあります。

27 町並み整備

歴史的建造物を活かした町並みが整備されています。居住者の暮らしやすさと来訪者の利便性が向上しています。

28 住宅環境

良好な住宅が供給されています。安心して住み続けられる住環境が整いつつあります。

29 道路整備

市内の幹線道路等の道路網の整備と維持管理が適切に実施され、利便性の高い道路等が快適かつ安心・安全に利用されています。

30 公共交通

市民が安心して暮らしていけるだけの市内公共交通が確保され、香取市と市外を結ぶ都市間公共交通の利便性が高く定住性が向上しています。

31 上水道

老朽化施設の更新や老朽管更新等の管路整備が進み、安全な水を安定して利用しています。施設や水道事業の統廃合など事業のスリム化で、水道事業提供者の経営基盤が強化されています。

32 下水道

公共下水道や農業集落排水処理施設等の適正な管理や基盤整備が行われ、河川等の水質が正常に保たれています。



市議会(議員側)



市議会(執行部側)

歴代市長・議長

香取市長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	宇井 成一	平成18. 4.30 ~	

香取市議会議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	平松大 建明	平成18. 4. 5 ~ 平成18.12.26	
2	木内 誠	平成19. 1.19 ~ 平成20. 2.27	
3	堀越 博	平成20. 2.27 ~ 平成21. 2.25	
4	田山 一夫	平成21. 2.25 ~ 平成22. 2.24	
5	金親 孝夫	平成22. 2.24 ~ 平成22.12.26	
6	高岡 正剛	平成23. 1.20 ~ 平成24. 2.27	
7	根本 太左衛門	平成24. 2.27 ~ 平成25. 2.27	
8	林 幸安	平成25. 2.27 ~ 平成26. 2.24	
9	伊藤 友則	平成26. 2.24 ~ 平成26.12.26	
10	坂部 勝義	平成27. 1.22 ~ 平成28. 2.23	
11	林 信行	平成28. 2.23 ~ 平成29. 2.23	
12	眞本 丈夫	平成29. 2.23 ~ 平成30. 2.20	
13	伊能 敏雄	平成30. 2.20 ~	

資料 議会事務局



かとり市議会だより



インターネットでの議会中継

City Council

The City Council is the place where members speak for the citizens.

【再発見】 香取辞典

Rediscovery Katori Encyclopedia



香取歴史浪漫

遙か古の時代に創建された香取神宮、大和朝廷の東国経営の拠点であり、工芸文化が集う場所でもありました。やがて内海と丘陵地帯を持つこの豊かな地域では漁業、農業、海運が盛んとなり、さらに江戸時代の利根川東遷事業により河岸が生まれ、交流の要の都市となりました。問屋などの商業や学術・芸術が隆盛しました。さまざまな産業が交差する都市として、独特の発展を遂げてきた香取の歴史を語る文化財を紹介します。



【府馬の大クス】(国指定)

宇賀神社の境内にどつしりと根を下ろした天然記念物のタブノキ。枝の張りには約18メートルもあり辺りは日中でも冷やかな空気が漂います。



国宝

【海獣葡萄鏡】香取神宮

千年を越える悠久の時を経て来た香取神宮には多くの貴重な文化財が保存されています。特に国宝である海獣葡萄鏡は正倉院のものと兄弟鏡で、大山祇神社のものと合わせて「日本三銘鏡」と呼ばれています。その他にも香取神宮の国指定文化財には双竜鏡、古瀬戸黄柏犬、本殿・楼門があり、登録文化財は香雲閣、拝殿、幣殿、神饌所があります。



【香取神宮本殿・楼門】(国指定)

現在の本殿と楼門は元禄13年(1700年)に徳川綱吉公によって造営されました。



【山倉の鮭祭り】

山倉大神で12月の第1日曜日に行われる初卯祭の別名。参拝者に頒布される鮭の切身の護符は「災いをサケる」と珍重されています。



【銅造 十一面観音坐像・地蔵菩薩坐像・薬師如来坐像・釈迦如来坐像】(国指定) 観福寺

観福寺は890年開基といわれる古刹です。国指定重要文化財の四躯の懸仏は元々香取神宮所蔵のもので鎌倉時代の作とされています。

The romance of Katori's history

Katori is a unique city developed as the center of various industries, with abundant cultural assets that tell us a rich local history.

【久保木竹窓 書】

伊能忠敬と親交があり日本全国の実成にも携わった儒学者。書にも優れ津宮の生家には遺品数十点が保存されています。



【下総型板碑】

鎌倉時代以降、全国各地に仏教などの石造物がさかんに作られました。特に香取地域を中心として粘板岩や雲母片岩を使用した板碑が下総型と分類されています。



【佐藤尚中 誕生地】

小見川出身の佐藤尚中(山口舜海)は、東京に順天堂医院を設立するなど、日本近代医学の中心人物です。現在誕生の地は内浜公園となっています。



【佐倉油田牧の野馬込跡】

江戸時代に下総地方に多く作られた幕府の公的牧場のひとつが市内九美上付近にあった油田牧。現在も野馬込跡は旧態を良好に残していて大変貴重です。



【瓦当範】

岩部地区のコジヤ遺跡から出土した全国で2例しかない陶製の瓦当範。直径12.2cm高さ5cmで奈良時代のものでしょうか。



【羅龍王面】

大戸神社に伝わる舞楽の面で14世紀前半の作。水を注ぐと雨が降るという伝説があり、雨乞いの面としても知られています。



【良文貝塚】(国指定)

縄文時代中期から晩期の貝塚で、利根川の支流に望む台地に位置し、ハマグリなど海に棲む貝が多く出土しています。



【関峯崎3号横穴出土 金銅製三尊押出仏】

関東で初めて出土した押出仏。東国への仏教伝播を考える上で大変重要で、7世紀後半の作品と考えられます。



国宝

【伊能忠敬関係資料】伊能忠敬記念館

初めて実測による日本地図を作り上げた伊能忠敬、その業績である伊能図などの関係資料2,345点は、平成22年に県内4番目の国宝に指定されました。

国宝の内訳

- 地図・絵図類787点…彩色された伊能図の他、測量成果を図化した下図、倉絵図、参考絵図など
- 文書・記録類569点…測量日記や忠敬の測量開始時の幕府辞令などの公文書
- 書状類398点…直筆の書状のほか親族、関係者からの書状
- 典籍類528点…忠敬が学んだ暦学書など
- 器具類63点…測量や天体観測に用いた器具類



香取の逸品

北総の豊穡な大地と利根川の豊かな水に育まれた香取市の農産物は千葉
県2位の産出額があります。また、江戸時代に始まった醸造や加工の文化が
今に続き、上質な素材と優れた技術で香取の逸品が数多く生まれています。

日本梨

利根川沿いや山あいの地域では幸水、豊水などの
梨栽培が盛んです。



完熟いちじく

いちじく研究会の努力の結晶。

キウイフルーツ

特に「幸夜香」は通常に
比べて2～3倍大きくて
甘い希少品種。



ぶどう

10軒以上のぶどう生産
者がさまざまな品種を
生産。

米

関東有数の米どころ。早場米の産地でコシヒカリ、
ふさおとめ、ふさこがねなどが主な品種。



ミニトマト

主力品種は糖度の高いハ
ウス栽培。



さつまいも

生産量が全国有数の千葉
県で、県内生産量2位を
誇ります。

豚肉

飼養頭数は県内2位と養豚業が盛んで、加工品の
ハムやウインナーも新鮮さが好評です。



いちご

12月頃から出回り初夏
まで味わえます。

うなぎ

利根川、黒部川流域
ではうなぎ料理を提
供するお店が数多く
あります。



ごま油「玉締め一番搾り」・ ラー油

創業350年以上伝統の味を守り続けている
製油会社が、手間暇かけてじっくりと抽出
した油です。



水郷どり

生産者が愛情たっぷりに
のびのびと育てた鶏。旨
みが濃厚でプリッとした
歯ごたえが特徴です。

日本酒

水郷の良質な水と関東有数の米ど
ころという好条件下で、古くから
地酒の醸造が発展しました。



みりん「最上白味酛」

江戸後期からの製法・味を守っ
て醸造する旧式手作り味酛です。



醤油

100年以上続く2軒のお店が
伝統を今に伝えています。



芋焼酎

さつまいもで作った本格芋焼酎。



すずめ焼き

鰯を背開きにして串にさして
焼いた形が雀と似ていること
から命名されました。



食のちばの逸品 受賞の商品

千葉県とちばの「食」連絡協議会が主催する千葉県産農林水産物加工品のコンテスト

恋する豚研究所 ロースハム

銀賞 (2014)

乳酸菌で発酵させた飼料で
育てた豚肉を九十九里浜の
塩で仕上げたハム。



九十九里浜 蛤酒蒸し

銀賞 (2015)

寛政12年創業の醤油醸造所が営む
佃煮店が開発した、お湯を注ぐだ
けで蛤のお澄ましができる商品。



寝た芋 (天然スイーツ甘薫る焼き芋)

銀賞 (2016)

遠赤外線加熱装置でじっくりと焼き上げた無添加、
無加糖の自然の美味しさあふれる焼き芋菓子。



落花生 100% ペースト

金賞 (2015)

落花生を子どもやお年寄りでも
食べやすいペースト状にした無
添加食品。

房総真鯛 春子焼 鯛めし・鯛茶漬

金賞 (2017)

春子とは、春先に出回る鯛の稚魚のことで、炊飯
するだけで本格的な鯛めしのできあがり。



鶏卵

生産者が工夫を凝らして安全、安心を
第一に丹精込めて育てた卵です。



マッシュルーム

生産量は全国1位を誇
ります。



洋ラン

受賞歴多数の洋ラン
園があります。

The Katori 'selection'

Please enjoy Katori's excellent products, produced by the rich earth of Hokuso, taking
advantage of the beautiful water of the Tone River.

香取歳時記

香取市では長く続くさまざまなお祭り、イベントが四季折々に行われています。お祭り好きの市民と大勢の観光客の皆さまが、一緒になって満面の笑顔でその日を楽しんでいます。

春

3月～5月

さわら雛めぐり「佐原まちぐるみ博物館ほか」
佐原のさくら祭り「香取神宮・十間川ほか」
水郷おみがわ桜つつじまつり「小見川城山公園」
御田植祭「香取神宮」
佐原五月人形めぐり「佐原まちぐるみ博物館ほか」
いきいき山田鯉のぼりまつり「山田地区」
観藤会「水郷佐原あやめパーク」



夏

6月～8月

水郷佐原あやめ祭り「水郷佐原あやめパーク」
はす祭り「水郷佐原あやめパーク」
佐原の大祭 夏祭り「佐原 本宿地区」
香取市民レガッタ「黒部川」
黒部川イルミネーション「黒部川」
小見川祇園祭「小見川駅前市街地（須賀神社周辺）」
水郷おみがわ花火大会「小見川大橋下流利根川河畔」
さわら・町並み・竹灯り「小野川沿い」
小見川はんなり市「本町通り」
栗源の夏まつり「栗源消防訓練場」
まつりin水の郷「川の駅・道の駅水の郷さわら」



秋

9月～11月

与田浦コスモスまつり「与田浦十二町歩」
佐原の大祭 秋祭り「佐原 新宿地区」
香取市菊花大会「小見川支所」
香取神宮奉納菊花大会「香取神宮」
山田ふれあいまつり「山田支所」
おみがわYOSAKOIふるさとまつり「小見川支所」
栗源のふるさとも祭り「栗源運動広場」
ふるさとフェスタさわら「佐原コミュニティセンター」
大饗祭「香取神宮」



冬

12月～2月

山倉の鮭祭り「山倉大神・観福寺」
香取小江戸マラソン「香取神宮～佐原」
香取神宮の初詣「香取神宮」
観福寺の初詣「観福寺」
佐原・町並み・お正月「佐原まちぐるみ博物館ほか」
ひげなで祭「側高神社」
香取神宮の節分祭「香取神宮」
観福寺の節分会「観福寺」



平成29年4月リニューアルオープン

水郷佐原あやめパーク

第33回都市公園等コンクール
国土交通大臣賞受賞(設計部門)



広大な敷地には芝生広場、カフェ、ドッグラン、体験工房などがあり、サッパ舟に乗ってあやめやハスを眺めることができる大型観光施設となりました。あやめ祭りには400品種150万本のハナショウブが咲き誇ります。さらに、日本一となる300品種の花ハスの回廊、藤のトンネル、梅や桜、リコリスなど季節ごとに風景を楽しむことができます。



園内で楽しめる主な花の開花時期

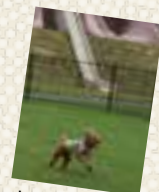
品種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
桜												
藤												
あやめ												
カキツバタ												
花菖蒲												
スイレン												
ハス												
リコリス												
もみじ												
ロウバイ												
梅												
葉の花												



嫁入り舟。観光客からも祝福の拍手が



四季折々の花が楽しめる



人気のドッグラン



体験工房も充実



品種数日本一の花ハス



幸せの道と言われる藤のトンネル

Seasonal events in Katori
You can enjoy an array of exciting festivals and seasonal events in Katori.

統計資料で見る 香取市

Statistical information on Katori City

香取市の面積は千葉県で
第4位

香取市で一番多い苗字は
鈴木さん

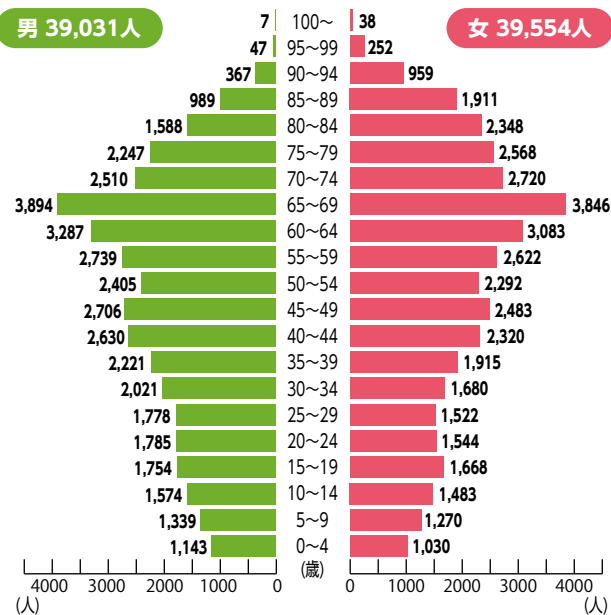
人口

世帯数及び人口の推移

資料 市民課
(各年4月1日現在)

	男(人)	女(人)	総数(人)	世帯数
平成25年	40,899	41,939	82,838	30,099
平成26年	40,318	41,329	81,647	30,239
平成27年	39,928	40,719	80,647	30,399
平成28年	39,492	40,155	79,647	30,614
平成29年	39,031	39,554	78,585	30,743

年齢別人口



平成29年4月1日現在
登録人口(日本人+外国人)



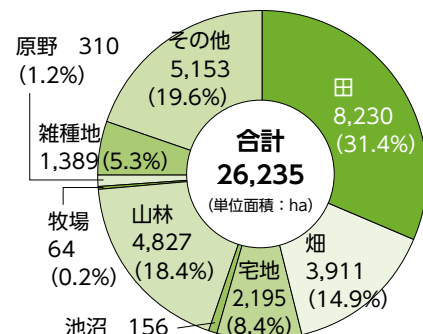
面積など

千葉県の北東部に位置し、茨城県と接しています。東京から70km圏、千葉市から50km圏にあり、日本の空の玄関、成田空港から15km圏に位置しています。

- ・東経140度29分38秒
- ・北緯 35度53分51秒
- ・面積262.35km²

地目別土地面積

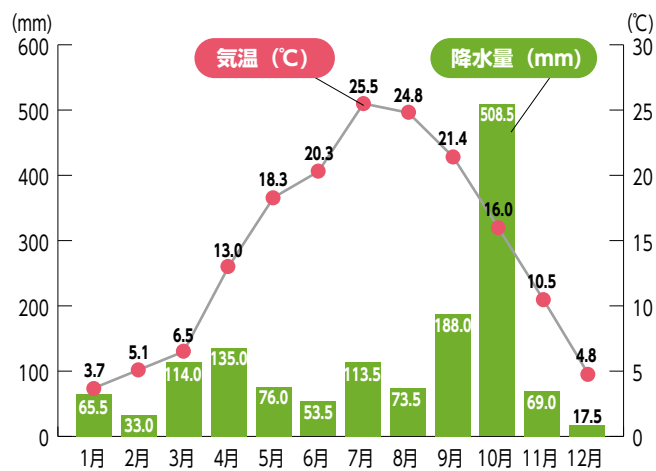
(平成29年1月1日現在)



資料 税務課「固定資産税概要調書」

気象

月別平均気温・降水量 (平成29年)



資料 銚子地方気象台

香取市全図

Complete map of Katori City



香取市役所



栗源支所
(栗源市民センター「さつき館」)



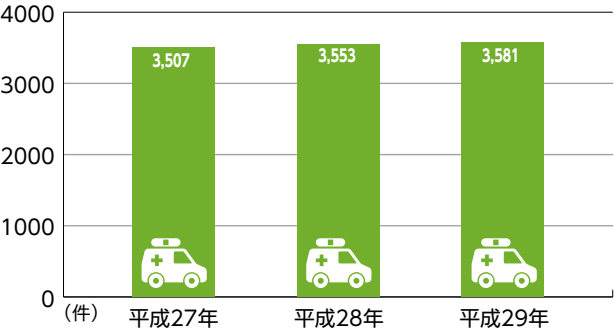
山田支所



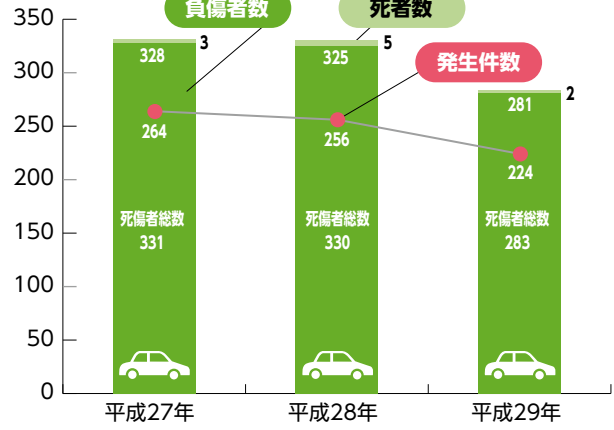
小見川支所
(小見川市民センター「いぶき館」)

生活基盤

救急出場件数 資料 香取広域市町村圏事務組合消防本部

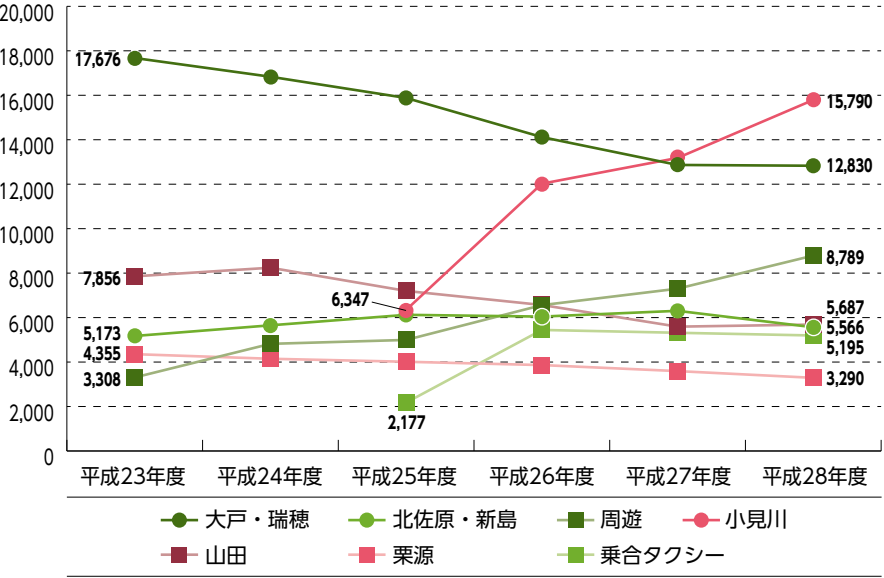


交通事故発生件数 資料 環境安全課



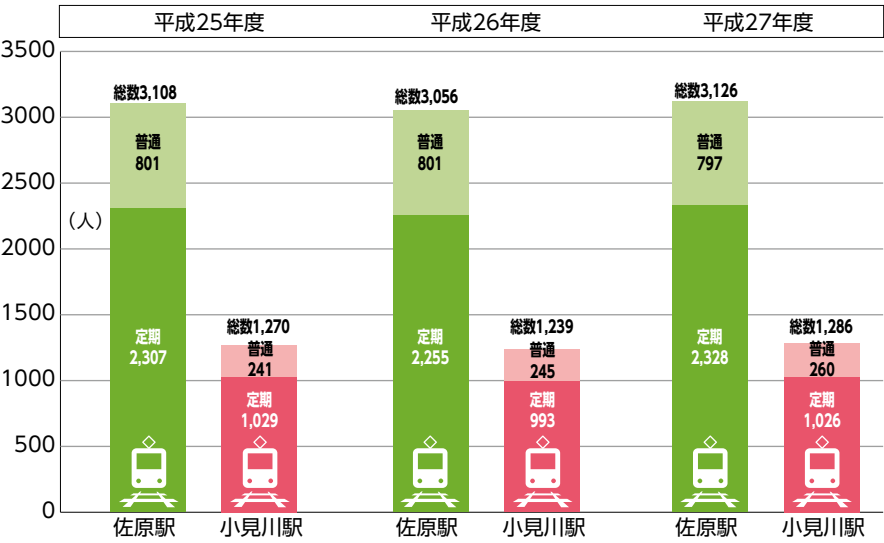
循環バス・乗合タクシー乗客数の状況

注) 平成25年10月に小見川循環バスのルート改正と乗合タクシーの運行を開始
資料 企画政策課



JR線駅別1日平均運輸状況

注) 端数処理のため、総数と内数が一致しない場合あり
資料 「千葉県統計年鑑」



交通事故件数は1日当たり
0.6回

香取市消防団員数

資料 香取広域市町村圏事務組合消防本部

	支団数	分団数	団員数
佐原	3	8	714
小見川	1	5	207
山田	1	3	198
栗源	1	3	178
合計	6	19	1,297

(平成29年4月1日現在)

香取市にある駅の数
6

建築物の状況 資料 税務課「固定資産税概要調書」

		平成 29 年	
		棟数	床面積 (㎡)
総数		63,106	6,302,806
木造		53,024	4,566,013
木造以外	総数	10,082	1,736,793
	鉄骨鉄筋コンクリート	18	20,939
	鉄筋コンクリート	330	170,517
	鉄骨造	4,315	1,151,372
	軽量鉄骨造	4,181	365,733
	その他	1,238	28,232

(各年1月1日現在)

水道の需要状況 注) 行政区域内人口は常住人口です

資料 水道課

区分	行政区域人口 (A)	給水区域人口 (B)	給水人口 (C)	普及率 (C)/(A)	給水普及率 (C)/(B)	給水量	一日平均給水量
平成28年度	75,885	70,271	58,478	77	83	727	19,908

公共下水道の普及状況

注) 普及率は、処理区域内人口を住民登録人口で除したもの

資料 下水道課

区分	人口集中地区面積	整備区域面積	うち処理区域面積	年間総処理水量(雨水含)	下水道施設下水道管渠延長(雨水管含)	普及率
平成28年度	315	729.18	729.18	453	162,843.2	30

ごみ処理の状況

注) 人口は各年 10 月 1 日現在住民基本台帳人口

資料 環境安全課・香取広域市町村圏事務組合

区分	処理人口(計画収集人口)	排出量(t)
平成26年度	81,267	27,761
平成27年度	80,199	28,120
平成28年度	79,174	28,323

し尿処理の状況

注) 人口は各年 10 月 1 日現在住民基本台帳人口

資料 環境安全課・香取広域市町村圏事務組合

区分	計画処理区域人口		総排出量(kℓ)
	水洗化人口	非水洗化人口	
平成26年度	72,106	9,161	24,340
平成27年度	66,836	13,363	24,940
平成28年度	71,177	7,997	24,838

市内を流れる一級河川

資料 土木課

水系名	河川名	全延長(m)
利根川	利根川	322,000
	横利根川	6,000
	常陸利根川	27,500
	与田浦川	15,860
	黒部川	18,100
	玉川	3,400
	小堀川	5,302
	清水川	2,830
	小野川	5,782
	香西川	1,852
	大須賀川	8,085
	下八間川	3,800
	派川大須賀川	3,900
	上八間川	3,400
	中川	1,335

(平成29年4月1日現在)

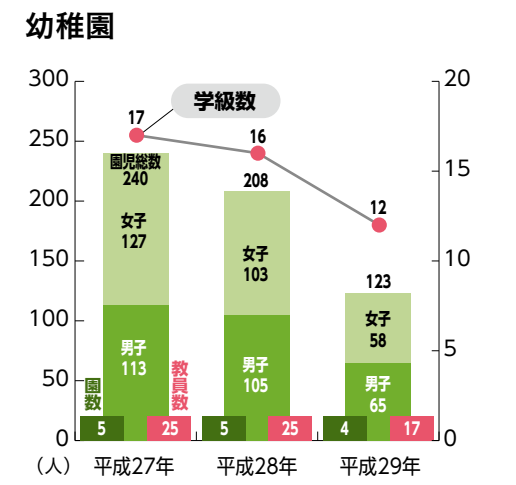
香取市にある橋の数は
505

市道舗装・改良状況

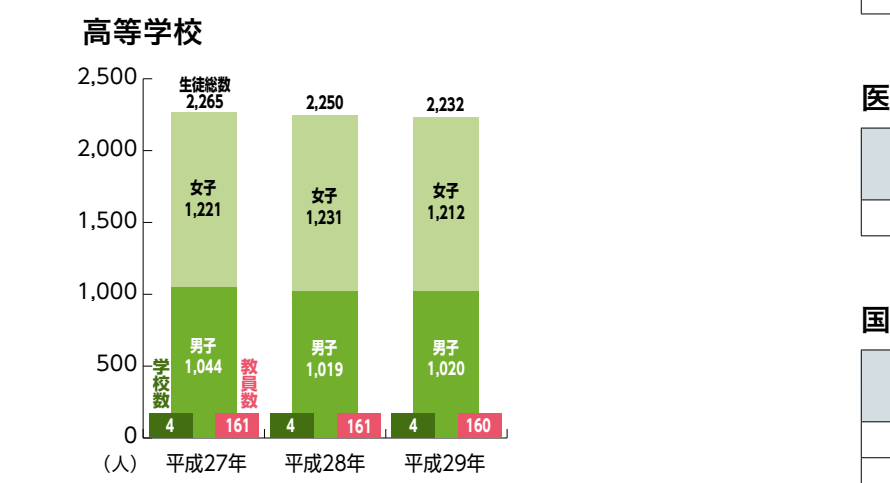
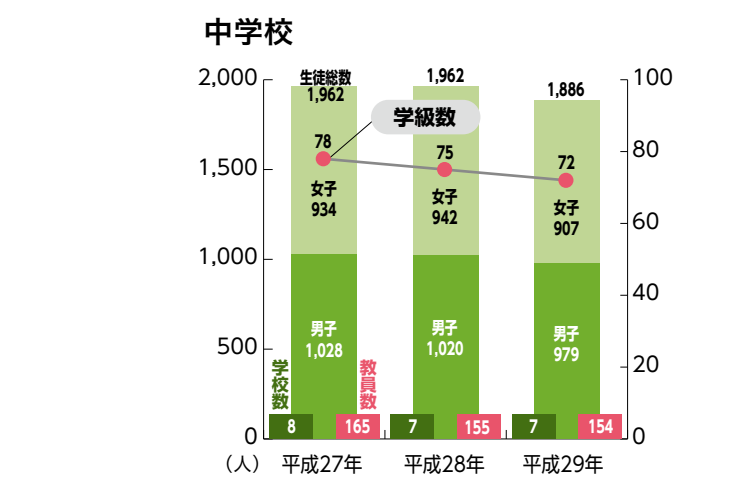
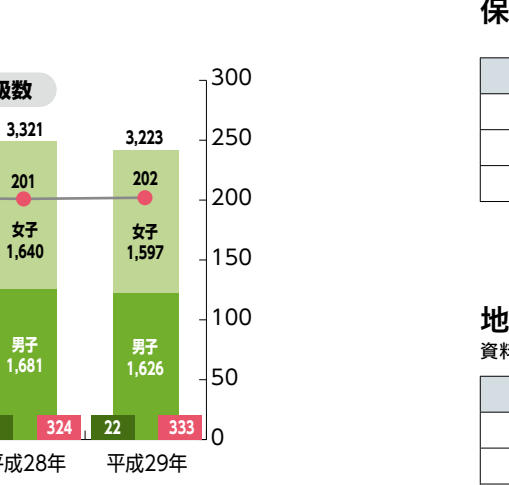
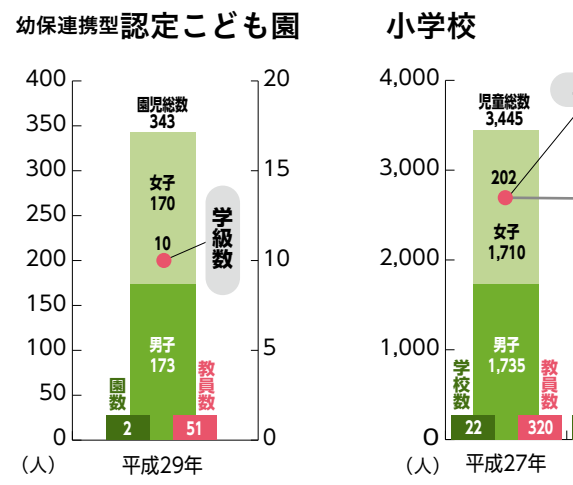
資料 土木課

区分	実延長(m)	舗装済延長(m)	舗装率(%)	改良済延長(m)	改良率(%)
平成28年度	1,368,700	1,113,144	81.32	833,210	60.87

教育・文化



学校等の概況 資料 「学校基本調査」(各年5月1日現在)



1日の平均利用冊数は
366冊

図書館利用状況

資料 教育委員会

	蔵書冊数	登録者数	利用冊数
平成26年度	134,071	26,859	218,538
平成27年度	136,448	28,011	216,315
平成28年度	141,329	28,887	210,685

スポーツ施設利用者数

資料 教育委員会

平成26年度	259,004
平成27年度	276,356
平成28年度	279,984

国指定から市指定まですべての
文化財の数は**187**

指定文化財一覧

資料 教育委員会
(平成30年2月1日現在)

区分	種類	名称	所在地	指定年月日
国宝	工芸品	海獣葡萄鏡	香取	昭和28. 3.31
国宝	歴史資料	伊能忠敬関係資料	佐原	平成22. 6.29
国・重文	工芸品	銅造 十一面観音坐像・地蔵菩薩坐像・薬師如来坐像・釈迦如来坐像	牧野	大正 2. 8.20
国・記念物	天然記念物	府馬の大クス	府馬	大正15.10.20
国・記念物	史跡	良文貝塚	貝塚	昭和 5. 2.28
国・記念物	史跡	伊能忠敬旧宅	佐原	昭和 5. 4.25
国・重文	工芸品	古瀬戸黄釉狛犬	香取	昭和28. 3.31
国・重文	工芸品	双竜鏡	香取	昭和28.11.14
国・重文	彫刻	木造十一面観音立像	佐原	昭和34. 6.27
国・記念物	史跡	阿玉台貝塚	阿玉台	昭和43. 5.20
国・重文	建造物	香取神宮本殿・楼門	香取	昭和52. 6.27 昭和58.12.26
国・重文	古文書	香取大瀨宜家文書	香取	昭和60. 6. 6
国・重文	無形民俗	佐原の山車行事	佐原	平成16. 2. 6
国・選定	重伝建	香取市佐原伝統的建造物群保存地区	佐原	平成 8.12.10
国・登録	建造物	染織処 谷屋土蔵(夢紫美術館)	小見川	平成11. 8.23
国・登録	建造物	香雲閣	香取	平成12. 2.15
国・登録	建造物	香取神宮拝殿・幣殿・神饌所	香取	平成13. 4.24

保育所設置状況

注) 職員数は、公立のみ(指定管理施設を除く)
資料 子育て支援課

	公立	私立	園児数	職員数
平成27年	13	8	1,660	61
平成28年	13	8	1,686	60
平成29年	11	7	1,384	51

(各年4月1日現在)

地域子育て支援センター延べ利用者数

資料 子育て支援課

	園数	利用者数
平成26年度	4	10,730
平成27年度	4	11,846
平成28年度	6	19,168

医療機関の状況

資料 健康づくり課

区分	病院		一般診療所		歯科診療所
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数
平成29年	6	1,132	49	23	41

国民健康保険の加入状況

資料 市民課

区分	世帯数			人口		
	総数	加入世帯数	加入率(%)	総数	被保険者数	加入率(%)
平成26年度	30,399	14,801	48.7	80,647	27,117	33.6
平成27年度	30,614	14,469	47.3	79,647	25,809	32.4
平成28年度	30,743	13,763	44.8	78,585	23,883	30.4

国民健康保険の給付状況

資料 市民課

区分	総額	療養給付	療養費	審査支払手数料	高額療養費	出産育児一時金	葬祭給付
平成26年度	69億7,188万円	60億8,849万円	5,144万円	1,424万円	7億7,250万円	3,771万円	750万円
平成27年度	74億3,102万円	64億2,038万円	5,430万円	1,452万円	9億 334万円	2,898万円	950万円
平成28年度	72億 889万円	61億6,533万円	4,761万円	1,410万円	9億3,685万円	3,735万円	765万円

介護保険被保険者数・要介護(要支援)認定者数の推移

資料 高齢者福祉課

区分	第1号被保険者数	要介護(要支援)認定者数							
		計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
平成27年	25,376	3,740	457	455	726	693	529	533	347
平成28年	25,923	3,930	500	462	802	737	546	535	348
平成29年	26,256	3,878	503	425	831	645	576	550	348

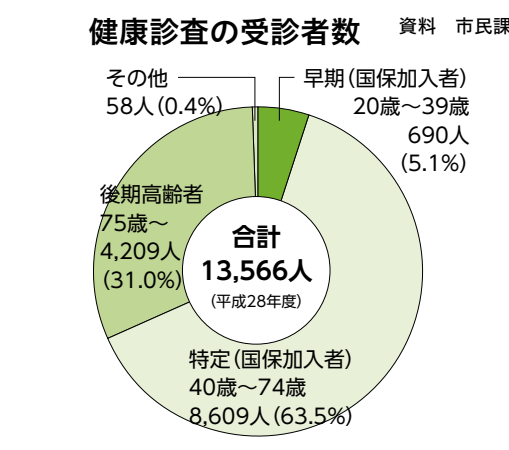
(各年4月1日現在)

介護保険給付費支払状況

資料 高齢者福祉課

区分	合計	居宅サービス費	施設サービス費	その他
平成26年度	55億4,339万円	26億 670万円	19億 69万円	10億3,600万円
平成27年度	57億1,210万円	27億3,246万円	19億1,172万円	10億6,792万円
平成28年度	55億8,505万円	23億5,478万円	19億1,105万円	13億1,922万円

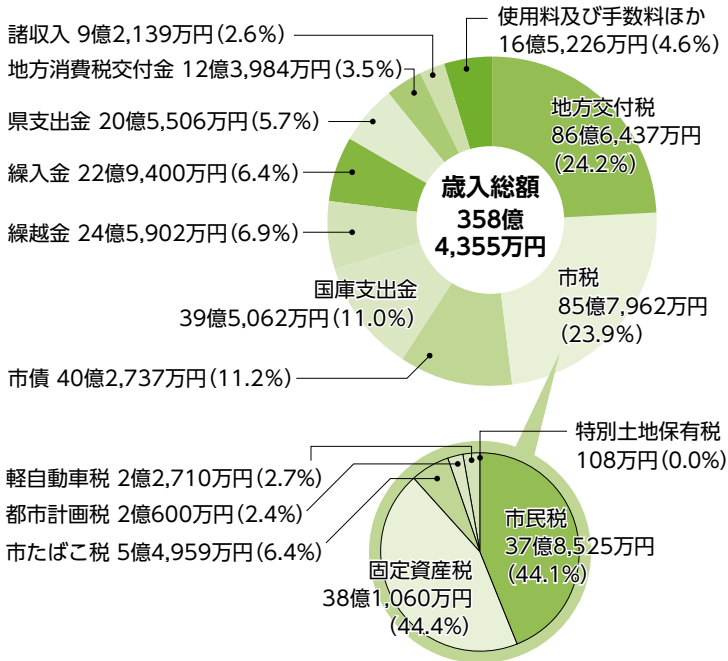
福祉・医療



行・財政

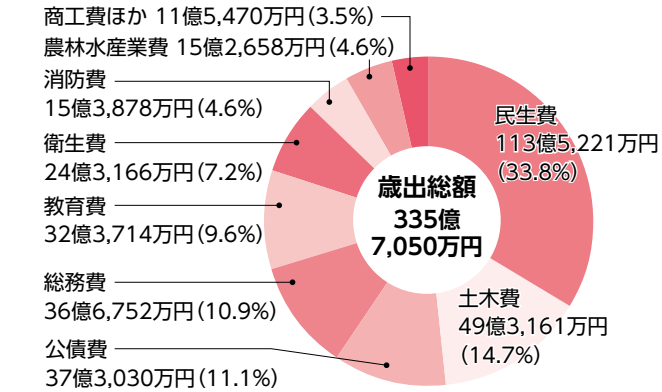
平成28年度 歳入歳出決算状況 資料 財政課

一般会計



企業会計

会計名		収入	支出
水道事業	収益的	21億2,769万円	17億 304万円
	資本的	9億6,125万円	17億2,502万円
簡易水道事業	収益的	1億5,575万円	1億1,616万円
	資本的	4,675万円	9,362万円
合計		32億9,144万円	36億3,784万円



特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	125億7,691万円	121億1,171万円
介護保険事業	67億1,841万円	63億5,692万円
訪問看護事業	1,393万円	1,393万円
農業集落排水事業	1億8,153万円	1億8,069万円
観光事業	5億5,256万円	5億5,256万円
下水道事業	24億7,339万円	24億6,129万円
土地取得事業	634万円	634万円
後期高齢者医療事業	8億 155万円	8億 78万円
太陽光発電事業	3億 625万円	2億7,421万円
合計	236億3,087万円	227億5,843万円

産業

産業別の事業所数と従業員数の推移 資料 「経済センサス - 基礎調査」(各年7月1日現在)

区分 年	総数		第1次産業		第2次産業		第3次産業	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
平成21年	4,158	31,635	50	596	859	7,298	3,249	23,741
平成26年	3,785	28,617	60	736	814	6,140	2,911	21,741

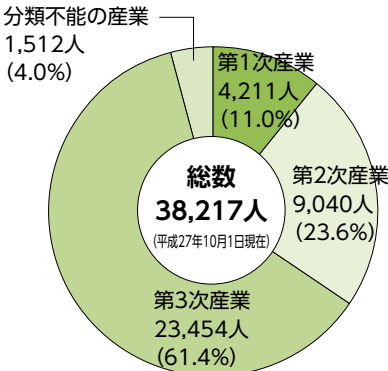
トラクターの数は
3,772台
(平成27年)

専業・兼業種類別農家数、農家率 資料 「農林業センサス」(各年2月1日現在)

区分	農家数	総世帯数			農家率(%)
		専業	第1種兼業	第2種兼業	
平成22年	4,196	719	781	2,696	15.3
平成27年	3,339	738	594	2,007	12.0

産業別就業人口

資料 「国勢調査報告」



事業所数、従業者数、年間商品販売額

注) 年間商品販売額は、4月1日から3月31日までの1年間の販売額をいい、消費税等を含む。

資料 「平成26年商業統計調査」

区分	事業所数	従業者数	年間商品販売額
総数	870	5,021	1,128億 838万円
卸売業	187	959	426億6,352万円
小売業	683	4,062	701億4,486万円

(平成26年7月1日現在)

工業の推移

資料 「工業統計調査結果報告書」

(各年12月31日現在)

区分	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
平成24年	119	2,694	599億4,363万円
平成25年	110	2,548	621億5,406万円
平成26年	105	2,387	645億5,701万円

太陽光発電電力量

資料：環境安全課

	与田浦	伊地山	大戸	大崎	附洲新田
平成27年	270万5,703				
平成29年	272万6,219	105万5,050	105万650	64万1,143	73万880

(単位：kWh)

市内観光入込客数

資料 千葉県「観光入込調査」

区分	観光入込客			宿泊客総数
	総数	観光・レクリエーション施設	祭事、イベント	
平成29年	682万9,289	575万8,757	107万532	3万9,663

(単位：人地点、人泊)

伊能忠敬記念館と旧宅の入館者数

資料 教育委員会

年度	総数	記念館	旧宅
平成26年度	130,045	74,466	55,579
平成27年度	235,547	70,839	164,708
平成28年度	263,766	82,946	180,820

山車会館入館者数

資料 商工観光課

区分	入館者数
平成27年	25,608
平成28年	28,178
平成29年	33,682

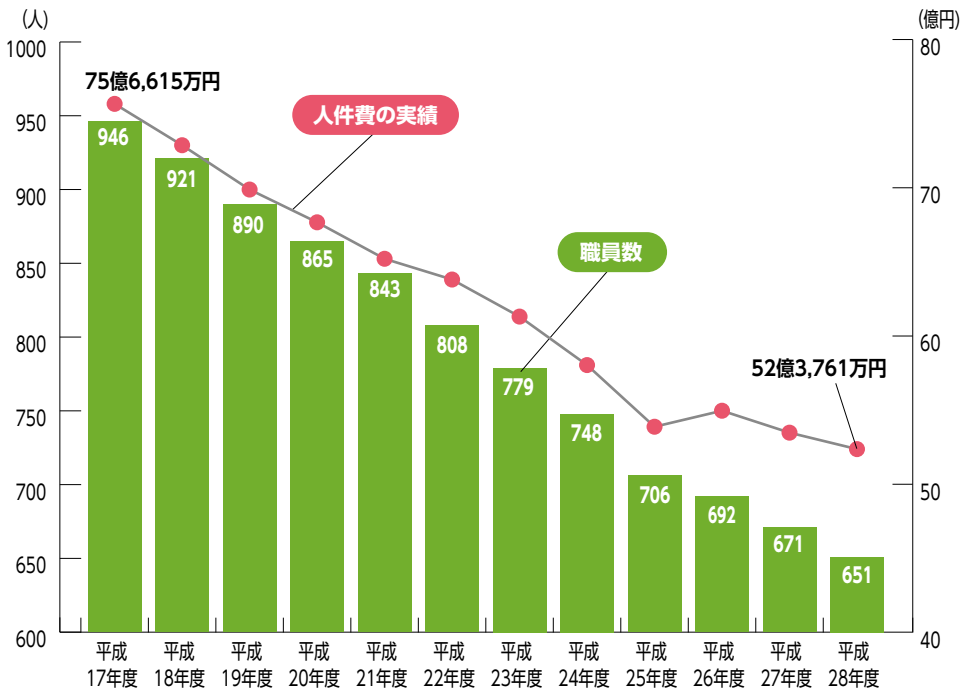
主な観光・レクリエーション施設等への入込状況

資料 千葉県「観光入込調査」

区分	香取神宮	道の駅 水の郷さわら	道の駅くりもと「紅小町の郷」	佐原の大祭	小野川沿い
平成27年	196万	116万	94万	76万	52万
平成28年	196万	117万	87万	75万	57万
平成29年	198万	116万	84万	62万	65万

(単位：人)

職員数の削減





- ① 香取街道を練り歩く香取神宮式年神幸祭の行列
- ② 先頭の猿田彦。酉年に催される「府馬のおいで」の式年祭
- ③ 新里の白川流十二神楽の稚児舞
- ④ 軽快に、華やかに、お囃子が響く。小見川祇園祭芸座連
- ⑤ 小見川祇園祭。6台の屋台が町に練り出す
- ⑥ 香取神宮。12年に一度の式年神幸祭の色彩豊かな御座舟
- ⑦ 威勢よく神輿を担いで地域を練り歩く。高野地区祭礼
- ⑧ 香取神宮へ御還幸
- ⑨ 長岡の神楽。「素盞鳴尊」の一場面
- ⑩ 五郷内祭礼。伝統の祭りと大神輿を次代に伝える！
- ⑪ 木内神楽。氏子の安泰と五穀豊穡・商売繁盛を祈願
- ⑫ 豊玉姫神社の神輿渡御。式年鉾子大神幸祭
- ⑬ 鎮守妙見神社での奉納舞。多田の獅子舞「三匹獅子」
- ⑭ 香取神宮の御田植祭。田植え歌を唄いながら苗を植える早乙女手代
- ⑮ 子どもたちも加わった山倉の鮭祭り



受け継がれる
祭りの姿





⑨



⑩



①

- ①利根川の川面を彩る水郷おみがわ花火大会
- ②快走。香取市民レガッタ
- ③腕の見せどころ。バサーオールスタークラシック
- ④はす祭り。水郷佐原あやめパークで300品種のはすが観賞できる
- ⑤あやめパークで演奏する、緋色の陣羽織が特徴的なおらんだ楽隊
- ⑥満開に咲き誇る両総用水の桜
- ⑦やまとの森で子どもたちが山遊びを体験
- ⑧大きいさつまいも、みつけたよ！収穫体験
- ⑨鮮やかな阿玉台貝塚の梅林
- ⑩手作りの竹灯りに照らされた小野川沿いの町並み
- ⑪黒部川イルミネーション。ポンボリには子どもたちの願いが書かれている
- ⑫明け方の焼いも広場とすくも



⑫



⑪



⑤



④



⑧



⑥



⑦

水辺と里山。豊かな自然が織りなす饗宴



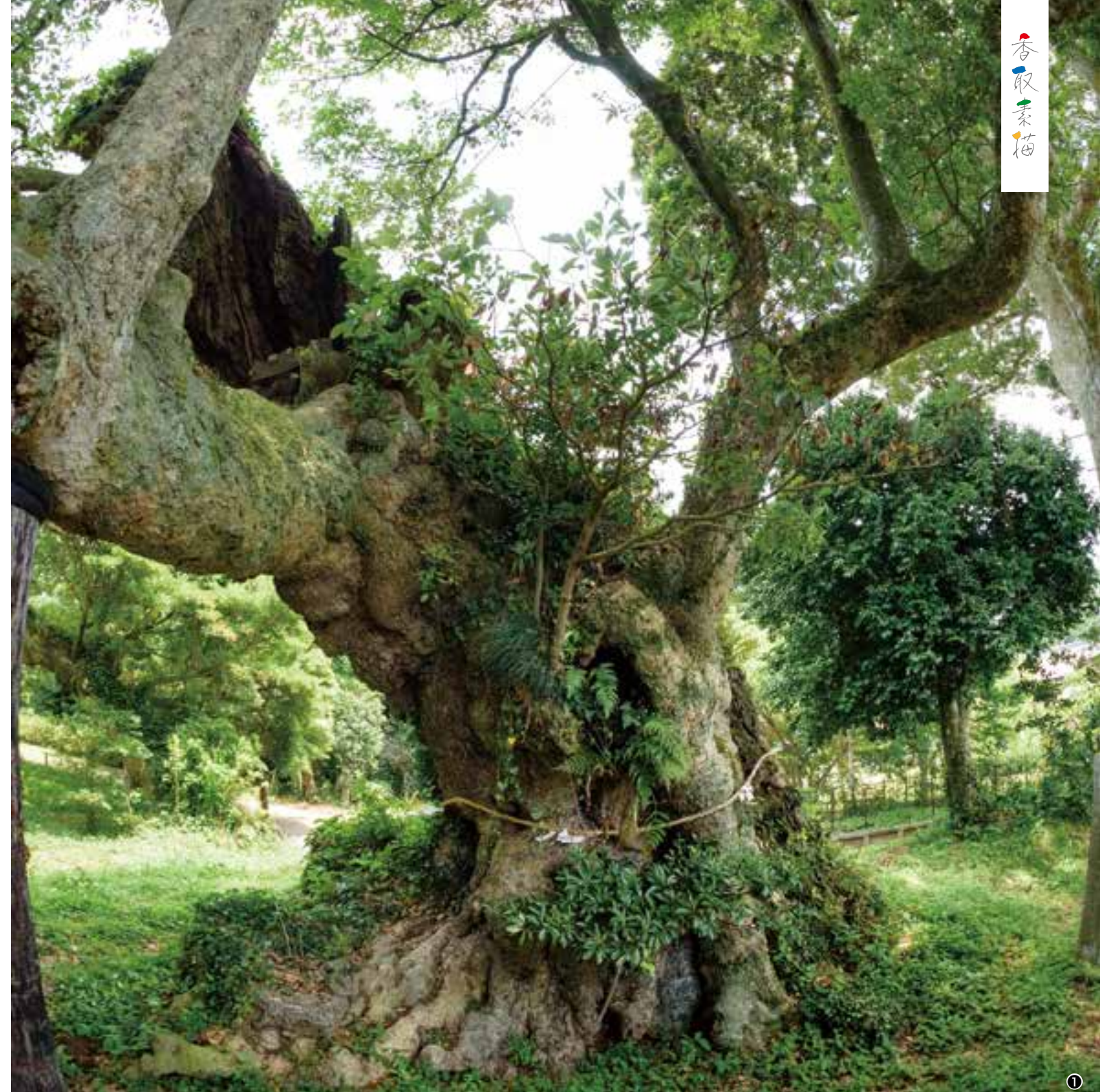
②



③



- ① 府馬の大クス。境内を覆い尽くすように枝が張る
- ② 横利根閘門ふれあい公園のポプラ
- ③ 今でも稼働している横利根閘門。レンガ造りの閘門は大正10年(1921)完成
- ④ 北総台地に広がる一面のさつまいも畑が美しい
- ⑤ 大人気！農園リゾートTHE FARM(ザ ファーム)のグランピングテント
- ⑥ 田植え体験。美味しいお米になあれ！
- ⑦ 春になると、一斉に田植えが始まる
- ⑧ 空から望む。雄大な利根川と大地
- ⑨ 星のふるさとをイメージした白鳥座のモニュメント
- ⑩ 小江戸佐原の歴史ある町並み
- ⑪ 柳が風に揺れる小野川沿いの風景



悠久の時を超えて 人々が紡いできたまちの佇まい



Symbols of KATORI CITY

市民憲章

[平成23年3月制定]

Citizen charter

わたくしたちの香取市は、雄大な利根の流れと肥沃な北総台地に育まれ、香取の杜や伝統的な町並みをもつ、豊かな自然と長い歴史のあるまちです。

わたくしたちは、この郷土を愛し、市民協働による住みよいまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

- 一 水や緑を大切にし、美しいまちをつくります。
- 一 地域の歴史を大切にし、文化の香り高いまちをつくります。
- 一 きまりを守り、平和で安心なまちをつくります。
- 一 とともに学び、ともに働き、活気あふれるまちをつくります。
- 一 お互いに助けあい、笑顔で暮らせるまちをつくります。

市章

[平成18年9月制定]

City emblem

美しい水辺の自然、広大な水田と里山の自然、未来に広がる青空を香取市(Katori)の頭文字「K」に重ね、鳥の羽ばたく形にシンボライズ。躍動感ある形は、香取市の美しく雄大な自然と未来への発展を象徴しています。



市の花木鳥

[平成19年3月指定]

City flower, tree, and bird



アヤメ[Iris]

利根川を中心に小野川、黒部川、栗山川など豊かな水辺に恵まれている香取市において、アヤメは水辺を代表する花として、広く市民から親しまれています。また、160万本のアヤメ類が植栽される水郷佐原あやめパークは、全国から多くの観光客が訪れる観光名所です。これらのことから、地域のシンボルとなっているアヤメを市の花とします。



サクラ[Cherry tree]

市内には、諏訪公園、城山公園、橘ふれあい公園、香取神宮など多くのサクラの名所があり、広く市民から親しまれ、愛されています。また、今後、さらに多くの植樹によって、より香取市のイメージアップに繋がることを願い、市の木とします。



ヨシキリ[Reed warbler]

葦原の中で賑やかにさえずる様は、古くから水郷の風物詩として語り継がれ、多くの唄や俳句にも詠まれるなど、市民にも大変馴染み深い鳥です。また、日本水郷の中心をなす香取市のシンボルにふさわしいことから、市の鳥とします。

姉妹都市・友好都市

Sister cities and friend cities

兵庫県川西市[平成22年7月締結]

福島県喜多方市[平成24年7月締結]

佐賀県鹿島市[平成28年4月締結]

茨城県つくばみらい市[平成30年1月締結]

災害時相互応援協定

Agreement for Mutual Cooperation at the Time of Disaster has been concluded with:

兵庫県川西市[平成25年11月締結]

福島県喜多方市[平成24年10月締結]

愛知県安城市[平成25年2月締結]

岩手県山田町[平成25年3月締結]

佐賀県鹿島市[平成28年4月締結]

発行にあたって



香取市は水郷の風情が漂う水辺、穏やかな姿を見せる丘陵地など、水と緑に恵まれた自然の豊かなまちです。また、利根川舟運の繁栄を偲ばせる町並みや、数多くの史跡や伝統文化が残されている歴史の薫り豊かな地でもあります。さて、香取市が誕生して早いもので13年目になりますが、今年は、わが国で初めて実測による日本地図を作成した郷土の偉人である伊能忠敬翁の没後200年という記念すべき年となります。

また、今後10年間の香取市のまちづくりの指針となる「第2次香取市総合計画」がスタートする年でもあります。

今回、伊能忠敬翁や総合計画の特集のほか、震災の記録となった「香取市市勢要覧2012」以降の災害復興も含めた歩み、そして日本遺産認定や佐原の山車行事のユネスコ無形文化遺産登録など、文化・観光面で注目される出来事も紹介しております。

ふるさと香取市への理解を深めていただくため、本冊子をご活用いただければ幸いに存じます。

平成30年3月

香取市長 宇井 清一

Preface to "A Profile of the City of Katori 2018"

Our home town, Katori, is a city blessed by Mother Nature, rich in water and green landscapes such as tasteful Suigo (river districts) and peaceful hilly areas. Katori is also a city rich in history, filled with historic sites and traditional culture, including a great townscape reflecting the prosperity of Tone River water transportation.

Nearly 13 years have passed since the creation of Katori City, and this year commemorates the 200th anniversary of the death of Ino Tadataka, a legendary figure of Katori and the first person to complete a survey map of Japan.

Moreover, this year, we will launch the Second Katori City Comprehensive Plan, which will serve as a guideline for town planning in Katori for the next 10 years.

"The 2018 Profile of the City of Katori" features Ino Tadataka and the Comprehensive Plan. In addition, you can read about the town planning involved in the Great East Japan Earthquake reconstruction activities implemented after the publication of "A Profile of the City of Katori 2012," which served as a record of the Earthquake. Finally, you can enjoy articles about exciting cultural news and sightseeing in Katori, such as its Japan Heritage site designation and the registration of its Sawara Float Festival on UNESCO's Representative List of the Intangible Cultural Heritage of Humanity.

We hope this pamphlet will offer a comprehensive guide to discovering the charms of Katori City for those who wish to know more about our city.

March 2018

Seiichi Ui, Mayor of Katori City